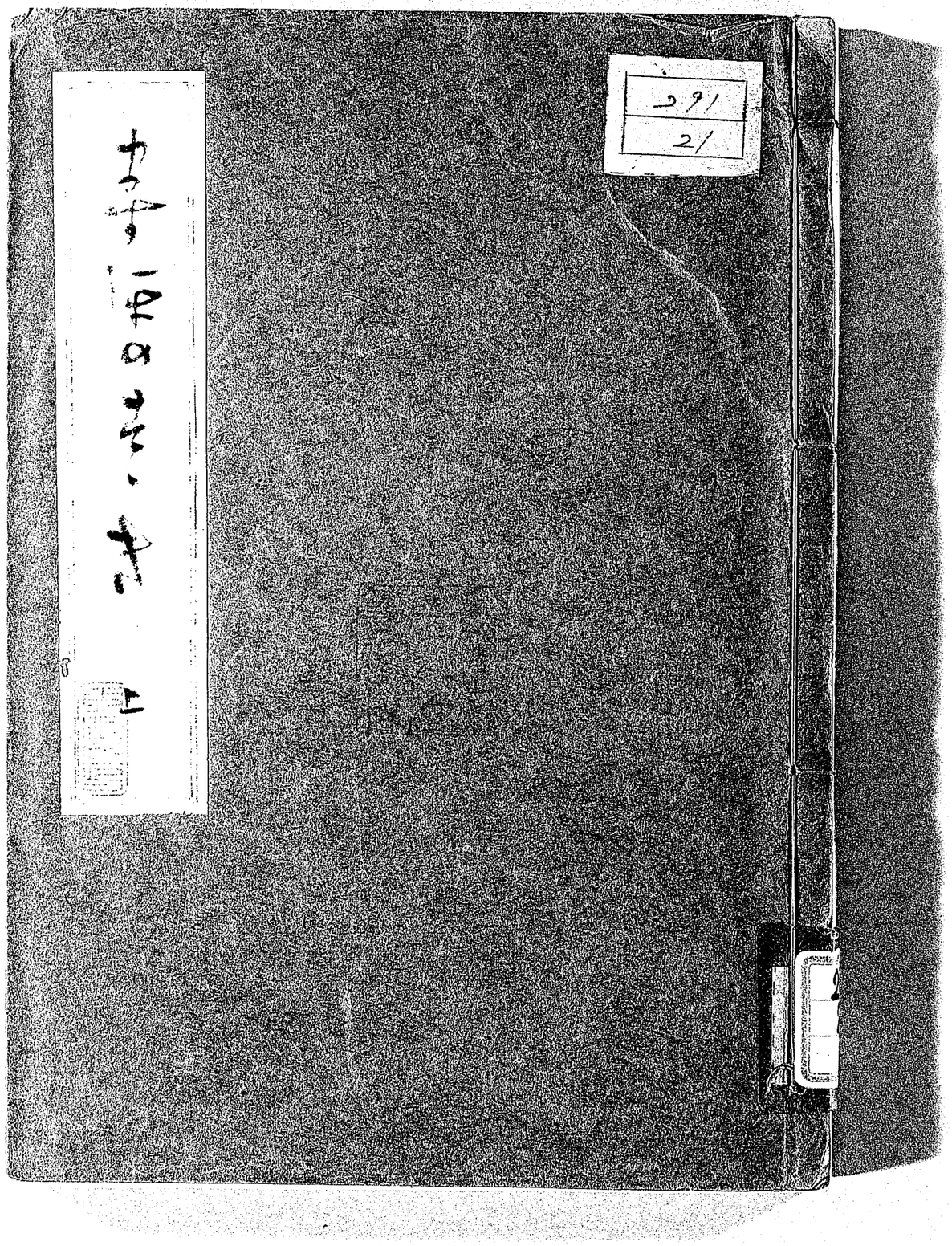


県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03947

中根七郎・馬雪贈

昭和三十一年
秋山県立
古座高校

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

291
21
1

古座高校図書館
28.10.21
蔵書NO. 3947

河辺のあい書翰

当家記事ニ婦系ニ古代ちゑ
ノー伝ノ四七部ヲ高ヲ神仏
□ノ海ノ遠津答返ニ有ノ言ヨ
なんとそ七十穂ノ家と名ヲ
苦ーく経ノ女ノ穂ヲ…
ヲ書あいたノ見ヨ人ノ便有ち
久ニて国家紀ノ之ヲ
ヨ七ノ北家織

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03947

一書傳ハ事實ヲ記スヲ以テ主トシ苟モ無稽ノ說ヲ不取事蹟ノ詳ナラサル者ハ闕テ之ヲ
社格ノ論ヲ不免事ヲ述而不作一ハ引書ヲ以テ先ト其
也蓋稽古ノ史ヨリ多ク書籍ノ滿有ル者ハ俗書トイヘトモ既ニ天下
ノ通用アルヲ採之以為證據且文辭繁簡之間恒ヲ而莫ヲ專
トスヘキ其本ノ座ニ大ニ社陋ノ說ヲ有書ニヨリ去之テ
旺盛多カラン精撰ヲ法ヲ以テ俟者ノ修ヲ待ニ

一名社事蹟ノ詳ナラサル者ハ別錄有ノ事書ヲ添ル不及今略之

一名所古蹟ノ名所有ノ書ニ就テ閱覽スヘキ一條ノ私說ヲ法
ヨリ漏ル

一予獨如此書乎草成其未脫稿而漫人之披覽也倘
須臾之暇一二勘加焉正日有言書此件乎附錄所
然而烏有旨哉不如俟後賢之異辨
乙亥春孟

十十穗の薄 巻之一

紀伊國

古事記作木國又城國
勝宝本曰作伊國故今不讀伊字

一紀伊國道程南北四日半
一天徑北極三十四度
一紀伊國上管七郡古小國穀高三十九萬五千三百四十七石
一源順和名類聚鈔紀伊國村名校訂詳此本書不載
一人國記紀伊國風土及人気の評此本書不載
一人別課紀伊國人數五十八萬八千六百七十四人内男二十八萬
二千九百七十五人女三十二萬五千七百九十九人

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

一武家修開任記ニ紀伊國ヲ東兵訓ト誌制度訳ヲ本書ヲ載
一萬葉ニ紀州ノ枕詞ハ、安佐婆要比ノ一ツノ作朝宿又朝母ヲ城
トセ
一清少納言枕ノ草紙受領ニ紀伊守地某ハ和歌ノ師
一藤原仲文謝紀伊國七郡名言歌

海士郡　一ニ作海部郎

海士郡ハ一世ノ海ヲ割リ東ハ名草南ハ有田郡ヲ距ル土地ヲ還
リテ雨貴所謂海濱廣汗ノ地是ナリ然ハ砂土ノ所謂性白
壌ト云類ナリ田畑大率潮水ノ浸淫ノ為ニ作物米穀ヲ善ク育ス多ク農人市ヲ
ありテ生業トス穀菜椅子百姓稀ナリ

穀物

粳　早稲　海辺ニ有リ実ヲ結ブ早ク熟ス故ニ名ク
　　晩稲　中ノ晩生ヲ云フ
　　大豆　小豆　赤豆　青豆　黒豆　白豆
糯米　餅ニ搗ク
蕎麦　ちやせと
胡麻　鶏栗
大根　中ノ晩生大根　松島
　　赤大根　久喜大根

三月大根 初秋
蕪菁 干菁天王寺の勝
油菜 菜実製燈油
千生菜 方言水菜 すぐ菜
苓子菜 真莉菜
葛芭 よめ菜 たべの草 ほうれん草 なりが
芋 第芋一名又赤芋・蓮芋
茄子 地種 長茄子
水蕗 上種 冒者 加州
根芹 三葉せり
夏大根
小菁菜 氣農
胡蘿蔔 珊瑚珠菜 白莧
花椰菜 加里蒙望加
獨活 山獨活 前うど
葉せり

葱 ふかね
繁蘇 第蘇實
生姜 花薑
蕎麥 日光とうやし 千・箭竹 ちよろぎ
百合根
蜀黍穂 四方の者 玉ぶき
瓜 真菜瓜 水鮮村 布引 外濱
雲瓜 布引 白瓜
冬瓜 いもうり
東瓜 とうなす
莢苗子 えんつきとうがらし すとうがらし
郭莢 うつぎ 行者蒜

筍　　垂箪筍
初筆　紅三葉山椒ノ芽　千本立ち竹の子　もち筍
松露　松江　青松露
菓樹　柚
　　柑子　橙　　實柑　智恵柑　重根橙　無
　　蜜柑　三陬　九年母　紅八朔
　　柚こう　唐柚　多ちば
桃　　五月桃　ぜんぱい　東方朔
杏子　　申さら梅　なし
楊梅　重根　山東　枇杷　別所村
梨　　青梨
　　赤梨　ありの実　おんらくい　蓮田産

石榴　なつめ　きんかん　ぎょぼう
無花果　いちじく　いぬびわ　青ぐみ　秋ぐみ
藥種
　　きりんけつ　せつかいたどり　くいこむら　さんきらいぶき　紅花　甘松そう　青木香　黄連　おおいそう　おおいた　まおう　いちご　萱草根
黄檗　安永年中命ありて植ゑ繁茂す　葉も阿波一部より檀ぜ拉し切其實ひねれば黒くみのり實甘し大お関西と雖人今世俗生の腐のみに用ゆ
　此木の皮を削り大小便閉塞の症に用ゆ　檀ぜ拉す利尿の効あり淋毒の用これ
　又一方書

薩摩芋　延享年の頃、海上漂流の薩摩の人より琉球芋種を伝ひ清辺の砂地に栽植ゑ其芋の稔る
　　明年より伝ひ番薯を蒔ゑ其功皆を伝ひ番土となり此芋八洲まで蔓

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

し糖をも為す一名蔗糖とも云ふ

砂糖　紀伊、阿波、讃岐一名地砂糖と称す甘蔗の茎を圧して汁を煮詰めたるもの琉球家の富豪の家にも肥前長崎より来れども和製山雑糖店の粉雪糖に大白ろ砂糖の如きものあり

精塩　世俗神白天文年紀伊国熊野浦にて焼き始めたり今三河村塩の名産となす近年雑賀塩大下一般に行はる

草鳥　延喜十九年諸国の人参河の深吉と云ふ処に集み持来る記して拾ふ紀伊国と載たり然らば草鳥は和名抄南中の鳥の根元なるべし

藤白墨　若山集に曰く河内陵墨行事と紀伊国名所にて土人の住む所なり世々墨を製す故に藤白墨と名づく今世々絶えたりと雖ども今世々墨を製する墨に劣らず延喜式に載する墨も此所の墨を指すなるべし

鎌倉墨　

大崎白石　延喜式曰石巻は陸奥国名所なり白石は石巻の傍にて奥沢如玉云々眼の石巻より用ひ新鎌倉より出たり

紀伊国墨　宝永大草紙曰書禅紙墨、墨梭の作、紀伊国墨為上品と出たり是利休代に始て紀伊国墨を製す今の中絶と云々

鞆色香　延喜式に紀伊国墨廿薫と載之故実未詳

南紀製玄圭墨　紀州南紀製玄圭墨主人歳用銭南海名生、薗達考のよしおゐ文之の比越国南海名物姥柳墨玉、琴剤墨を製り今世も造る近頃蒼剛一具香墨一具奥之横外有国墨玉をして琴剤墨を造らしむ古剤に少し倍今墨の世々伝る朱漆墨漆時代物にして世の珍宝なり本邑銀鈴香堂に根来椀　根来山坊名の字有るものを上とす

黒江椀　紀州黒江南谷旧根来椀師の子孫多し木具膳椀、七ツ道具、筆管、箱物等の本邑和銅十一年紀伊国続日本紀に載る所と云たり

綿毛綿　河止産帽ノ用ニ供ス、旅下ノ中之ヲ用ヒ
曝木綿　作川ざらし、北山晒、山形染、官用
紋派布　加賀金沢ノ製ニシテ吉野七年縞ヲ模倣ス派、今ハ専ラ京、大坂ヘ輸リ鬻ク
絽糸　新九郎島
　　秩父絹
　　安部井絹　近年ノ出来ニシテ今縫ヲ以テ人ノ生地トスル三種アリ
　　毛綿織　多クハ用中国並英大ノ利潤トスル。
　　布引村及ヒ其他ノ物所在ノ実価上ヲ称ス
小倉綿
捻綿　一名笠ノ緒ト甘ス　衣服ノ中ヘ入用ヒ諸方ノ称ニ当ル
長絽　上縫　佛細布　器毒ヲ避ケ暑ヲ防ク用之
網巻　蘭学並ニ有リ唐桐ノ造ル
足袋　白方縞　仗派造　茶刺之類
　　孫右衛門

勝仙温石　温石ハ医家ノ説ニ依テ造ル所ノ石ノ上中ノ伏ヲ有ス者ヲ宜シ
　　石ノ上中ノ伏ヲ有ス者ヲ宜シ
砚石　苔蘚ヲ去ルヲ佳シ、神ノ器ヲ造ル
　　新製琴海石ハ高価ナリ自余ハ用ヲ不ス
　　琴海石ハ高価ナリ自余ハ用ヲ不ス
自然銅
石灰燐　骨灰牡蠣　肥料ニ供ス
珊瑚玉　海松
紙傘　蛇目　番山ノ竹骨　佃工ヲ雇用ヤ参リテ骨ヲ造リ、白紙ヲ張ル
　　仲形ノ傘ノ如シ
　　挑燈
帆傘
日人傘

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

陶器　苦茗を煮る山水の妙を得る、日刀愷と云、日刀愷と云、
三重河原焼を云、花生、茶碗、湖水、土瓶、急須の類、鉄色烏
岡五土 造之 乃文雪を印す者之
瓦　地瓦と称す 甘大田焼中陵
人形の類 九焼 切細工種々の瓦師の手作り琉毒の瓦可愛
ちんびき
蟾蜍　ひきがえる
蝦蟇
石工　石燈籠　石臼
石細工
船大工　造り家　木挽　北新町
筆工　福山　当流　和吉の海苔軸
紙　多福奉書紙
紙漉　杉原紙
軍扇　朱地に唐の海士 郡加茶谷の小中村の兵剛
寺に蔵より由緒有て製之 伯云 昔沫当左近大夫幸長
朝臣の如文を以て岳寺扇子相作て於々生之 墓前に奉納す
之

扇子　本町一丁目　洪園扇
鋳物　金屋町　鍋釜
梵鐘　喚鐘
唐鋤　七輪網
芳令立儀　和休の時代知行割替
二角二令世の歌重宝之芳令の文人侍来得詳
打物　鍛冶屋町　出刃
針　加賀ばり
鍛結者　東町　稲古坂
檜物師　四ヶ　曲物
水桶杓　結方と称り　漆桶
蘭之

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

水通
桶樽　油桶
油樽 渋渋 桶手鉢
杉戸 襖戸 障子 桐子 箱子 高台寺中次 真竹 遮箪笥
竹細工 破竹籠
いかき御堂 文台箪笥
蔵箱 湯桶
牛筋 固塗 固勢力 線香 鉢 元結 元結入 家中
煙草 煙管 昔は竹片を砕き先を麻黄か富りて火を発す 附木と称す
今は附木と唱ふ
桂屋根 若山桂屋根 名物
柯油 油桶 梅干利

雕物根付
壹斎劇画　装剣奇賞曰作小笠原一斎の雕物は天下無双の名人
昔の物を雕む 鬼神奇怪 象牙 鯨牙の細工人形鳥獣の類現在世の
好を要とせと云たり 物にて揚り物の材草木魚の類
雕物師十蔵　壹斎の門人装剣奇賞と載之雕物上手と云たり
長谷太市郎　壹斎の弟子装剣奇賞に載
横井秋斎門　亜世影物根付物精妙にて賞作者の不
紀州之右エ門　装剣奇賞曰紀州之右エ門古代雕物一上手有共代与
賞て許して伺ひ仰の又右エ門と称せり 人今の世に影物根付物精妙にて賞作者の不
墓墅塙勝　取揚溪　小児根付

刀鍛冶
文珠四郎　出雲鉄 於南作重國来、珍駿河、と有之銘記ずる、
文珠の天下無双刀鍛冶の名人、百八鍛と云、家の

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

傳授あり詳二人物の示ニ見たり

南紀安藤　紀州佐倉安重　刻銅

紀州佐倉　近江守長寛　重定

紀州佐長次　為康　刻銘

紀州康廣　森高　壹貫一

雁金弓　紀州弓工村上村の家ニ製雁金ノ名物雁金の燈ヲ押たり國製ナリ此外ニ名作ニ名作ニ名作

糟漬　紅ずの酒粕の南方温気ノ土地自然と和並し洋布他方の
　移る春陽如至の猶ノ強辺横と名物位物を洋て多く並ず
　ものなり

茄子　唐瓜

鉄炮　干瓢

蕎麦麺　出ル製甘き麺を三都ニ移まり春洋新宗ニ蕎麦
　ハ五行の働を具へ其まゝ名ハ白ー茎ハ赤く実ハ黒
　大根ノ黄なり　味ハ甘ー

素麺　小麦製ハ太く下ロ引り

菓子類　饅頭　餡ハ砂糖ニ米粉ヲ
　塩焼餅　紀三井山

小石茶巾　宇奈
　亜女池　巻煎餅　九谷ノ干
　塩芸舞
　新茨餅　東長町

和歌ノ浦干海苔　名物近年製出至て和ー　沈草海苔と
名陀ヶ浦干和布　相救を
　南紀の名産

生和布　塩蔵ハ
太海雲　沖島
　塩津

独角菜　大ノ浦　石花菜
　ほんだわら　干物他方

おめ守　カゞ家苔村々より多く漁出ー　揃干他方
白梅
かゞ陀ヶ浦ノ名産
　ムーは　陀ヶ浦ノ
鶴臨　風味ハ佳

海鰻肉醤　寺ニ多ク他ノ名産
　ま　我紀の国の名物ハ
　ゐあだ　かばやき
干甘鯛　秋ノ
　なま鯛ノ漬名
　南海ぎりで　他国ハ稀ニ美ナリ

干鰯　加佐
　小所

干大　往ノ時ハ
　重宝ニ古ヲ

海漏　和ノ字ノ姉着
石蓴　紙カ海
```

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947
```

一名葛附子　一名草附子　根が芋虎の形より他刀の鞘を刺に作るに象るの
まの甘味あるを煮ものに漬かた三物備を以てす但し来り地出
市販有の下品一ぉれ
演煙鍋　演煙の名は塩漬と云と雲行おいおれ雑煮の話題
味噌鍋　味噌根元おわ　ムハ三菅材の塩焼蕎麦鉢鍋を用れ
生塩鍋　生塩鍋を大鍋るに
こ鍋で焼れ宜しからず
蒸海風　蒸海家の鉢なれ田舎演を取て正月かな注連(シメ)飾
酢海風　酢海家と名け珍味とも神著大人参子骨と云和
とあるを唐土にて海参
るりそを唐山の好尚
と書れ又えたり　酢海風　酢海家の鉢なれ田舎演を取て正月かな注連(シメ)飾
酢海風　酢海家と名け珍味とも神著大人参子骨と云和
とあるを唐土にて海参
るりそを唐山の好尚
と書れ又えたり

木の芽子鯵　田舎名物　すぎざこ(杉子)　千鯛　千鯛
千海鰻　千鯛　千鯛
大鯛　雑煮海　海鰻　海鰻雑煮海
鯛煮　海鰻雑煮海　海鰻雑煮海
才の実　松江鱸(ここは)　中喜漁

鯛　鯉　時鳥
鱒　鮭　鯰
金亀鳥　黄鶺鴒
鼠女　河豚
吉書鍋　久知徳鍋
鰒　鱚(きす)
白蛟　大蝦(はぜ)
藻巣　目張
鰭　黒巣　針魚(さより)
と沙　蜂巻　赤貝(ごこ)

鱠　鰭　鰐　鮫
鯖　鯨　鱈　鮭
鯵　鰯　鰹　鯖
鰤　鰈　鰻　鯉
鱚(きす)　鯰　鯛　鰒
鰹　鯵　鰯　鱈
鮫　鰤　鰈　鰻
鯉　鱚(きす)　鯰　鯛
鰒　鰹　鯵　鰯
鱈　鮫　鰤　鰈
鰻　鯉　鱚(きす)　鯰
鯛　鰒　鰹　鯵
鰯　鱈　鮫　鰤
鰈　鰻　鯉　鱚(きす)
鯰　鯛　鰒　鰹
鯵　鰯　鱈　鮫

鮒　鱚　鯵　鰯　鯖　鱈　鰹　鰤　鰈　鰻　鱸　鱒　鯉　鯨　鱶　鰐　鰒　鰕　鰌　鰍　鰐　鰒　鰕　鰌　鰍

鱗　寶志　方言　綽

加陀神肱　漢名東海大夫　牛頭天王　我が郡加陀神名を
三月上巳　要約の社神事此日なり神佐名

梅花月　櫻貝

吹上濱納貝　古事

蛤　和名吹上　烏帽子貝　方言

月日貝　たから貝　紅貝　方言

馬刀貝　梭魚貝　神貝　方言あさり

和名備　鄙爪貝　碁石貝　赤貝　帆立貝　吹上濱名産　鳥貝　松江

名産　妹背牡蠣　山かんから　梯肱　蛍烏賊　赤亦蝶　汐吹貝　日ヶ濱　蜆　小粒蛤

こうる　魚時　石粉　細螺釣　立川　結燒　立り

鐘釣　種　蟶釣　四寸　綉貝　鯔釣　鮫釣　鉄釣

烏賊釣　十月

醫藥　保命丹　和方傳　寶壽圖　堅固薬　本香丸　本国

鉄漿　千人丼　三田村　山畑堰古薬　保命丹　新橋　天正寺

烏犀圓　校授　十九兒丸　本国

敬誉油雲　目藥　上藥　金三兩　大抔西　菜山小粒

寺　有之氏　和名秋利丸　抔子圓　中名

中風藥　空地　骨徒藥　府内　毛生藥　市店　葉ノ艾　宮門

粗方藥

瘡腫疥癬　方ノ言

眼科　小稚野　長善

仙千　加茂　道伸

筆圓　松葉　古林

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

館柳　越国南浦生白鷺物ノ花及詩集初ノ條立ノ柳ノ本ニ手傳
多賀都七角堂ノ柳　芳蕾ノ柳ヲ初テ今題備前ノ侍行平世
桜花　紀三井寺山ノ桜　芳蕾蕊今ノ柳ヲ初テ今題備前ノ侍行平世
白菊　吉野川　夜山
宝穂山頂ニ咲ノ菊ノ古及名方古今　吹上ノ浜ノ白菊ヲ
和歌山ニたてる白菊ノ花かもなの浦のよすが
藻蓋草　奏海
葉蕨　芦辺　和方ノ海ヒ芦巻ノ苗ヲ名ヲ山事ノ苗ヲ生ル　石芦　玉津島岩根ノ芦ヲよめり
梅花　和山梅谷　桃花南部　藤原行平　備前村
仁徳　和泉堺　棚橋　紀三井寺
躑躅花　芳野山　紅葉　若浦山
杏樹　栗村　合歓　淡人造　岩蓮華　若浦
合歓ノ葉ニ似テ　淡ノ　かうふり一ヤ
結縁草

蓑衣虫

古村　和泉国和泉郡ノ村名　又東国ノ剣書ニ白
和方村一名横山より是を玉津島ノ山ともいふ
和方村一名横山より是を玉津島ノ山ともいふ

淀村　俗称村ヨリ南摂州河内望ム
和泉ノ村　住吉ノ神社部ノ領分ノ古大社宇治ノ方ヨリ
事績多ノ本村ヨリ東ノ方ニ
有馬ノ村　林道春ノ紀行ニ有馬ノ村ノ侍ノ容山侍第ノ歌
吹上一根揚方　本朝俗諺ニ吹上ノ根揚ノ下リ松ノ古蹟ヲ詠ズ
古ヨリノ村　名所図絵ノ
北山宝幢村　吹上ノ初ノ村
梅溪新村　前　和歌浦ノ

杜鵑花　一望山四辻　西村紅　裏東お坊三苗女　根本　藤代筆捨二村　霧山村集

雪　高槻山古寺　月　明石ノ浦　明笠浦　雨　賀茂川　牧馬　若狭

檜牛　淺ノ牛吹き寺　千本葉牛市　鵜　鵜飼　千鳥　小江浦　田舞　吹上ノ浦

雪　名古山　宮ノ森　鷺　外宇中川　鵜　池亭　海鵜　春宮ノ二本松　二羽ノ宮

鵜　池亭　鵜飼ノ東郊　天鵞　西外　海老　古小宇　市浦　蛙　田中井戸　蓮池

さいごく　おく　鶯　松江　寺村　小舎　豆腐ハーひよどり　青苔　百千　ト雪春　江せき　せきれい　せきれい　鳥たち　黒豆　目白　山がら　ちどうがら　あとり　つぐみ　あり　鶏舎　小辺　加治山　鉢出　演舌　株花

こま　白頭翁　かつぶり　れんせやく　さんせやく　ひくいす

水仕所立ち花野菊

野菊　あばら家　垣ねと　ほけ　いぶき　桜草　こばはやま　かきつばた　石蕗　ぎんけ　百日紅　芭蕉　ねむと　信濃から魚　えくみ　あやめ　千日紅　ひるがお　山吹　そてつ　水仙　ぎんりょう

海士郎

人物　あさがほ　美人草　あさみ　女日子　ひおうぎ　ちょうめい　海苔　風すま　桔梗　おちょう　いちりん　草　菊　梅ぼし　ばら　風仙花　水芭蕉

神武天皇　東遷、神武天皇大和国平定　和名国号　地名由来　男の水門　水天と乱暴を防ぐ　南海の海女　某浦の海士　一国の産物等を知る

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

五清命　古事記、五清命ハ神武天皇ノ孫ニ當ル神渟名川耳尊ノ事ニ大和國高
　　市郡多ノ地名ノ起源ノ中ニ和銅國ヨリ紀伊國ヲ分チ阿波ノ
　　國ヲ割キ淡路ノ國ヲ以テ紀伊國ニ屬セシメ海ヲ越エ
　　沼海ト云ヒ又五清命ノ時ニ紀伊國ノ水門ヲ定メ給ヒシ
　　ノ水門ト云ヒ今存在ノ西牟婁郡ノ神倉ノ濱ヨリ船ヲ出シ
　　テ海ヲ渡リ熊野ノ山中ヲ和歌國ヨリ紀伊國ニ越ユル
　　ノ道ヲ開キ給ヒシ所ノ水門ヲ指シテ云フ
仲哀天皇　日本紀ニ仲哀天皇熊襲ヲ討チ給ハントシテ筑紫ニ
　　御滞在ノ事ヲ記シ給ヒシ時ニ九州ノ
　　豪族皆天皇ニ從ハス反テ叛キ給ヒシヲ以テ
　　天皇ハ日本紀ニ熊襲ヲ討チ給ヒシ時ニ紀伊國ヨリ四百人ノ兵士ヲ
　　徴シ給ヒシヲ以テ紀伊國ニ於テ徴兵ノ制度ヲ
　　設ケ給ヒシヲ知ルヘシ
英道彦　倭日本紀ニ英道彦ハ開化天皇ノ御子ニシテ
　　倭ノ楯列ヲ討チ給ヒシ時ニ紀伊國ニ
　　來リ、天道根命ヲ紀伊ノ國造ニ任シ給ヒシ
　　事ヲ記シ給ヒシヲ以テ英道彦ハ紀伊國ニ
　　來リ給ヒシヲ知ルヘシ
聖武天皇　日本紀ニ聖武天皇ノ天平十二年冬十月天皇紀伊國ニ幸シ給ヒシ事ヲ記シ
　　遠ク和歌ノ浦ヲ望ミ給ヒシ事ヲ記シ給ヒシヲ以テ
　　明ニ知ルヘシ
桓武天皇　日本後紀ニ桓武天皇ノ行宮ニ幸シ給ヒシ事ヲ記シ給ヒシヲ以テ
紀伊直　紀伊ノ直ハ天ノ御食持命ヲ始祖トシ海上郡ノ人

大伴部博人　倭日本紀ニ外ノ初位上壬生部博人ヲ紀伊國ヨリ
　　呼ヒ寄セ神護景雲二年十月天皇紀伊國海上郡ニ
　　行幸シ給ヒシ事ヲ記シ給ヒシヲ以テ明ニ知ルヘシ
桓武天皇　日本後紀ニ桓武天皇ノ行宮ニ幸シ給ヒシ事ヲ記シ給ヒシヲ以テ
小野小槻　天平神護元年十月廿二日天皇紀伊國ニ行幸シ給ヒシ
　　事ヲ記シ給ヒシヲ以テ明ニ知ルヘシ
橘真幹　慶雲二年ニ橘真幹ヲ紀伊守ニ任シ給ヒシヲ以テ明ニ
　　知ルヘシ
公任　公任ハ紀伊國ニ下向シ給ヒシ事ヲ記シ給ヒシヲ以テ明ニ
　　知ルヘシ
押勝　押勝ハ紀伊守ニ任シ給ヒシヲ以テ明ニ知ルヘシ
仲実　仲実ハ紀伊守ニ任シ給ヒシヲ以テ明ニ知ルヘシ
俊文　紀俊文ハ紀伊國海士郡ニ於テ海邊ニ庵ヲ結ヒ禪師
　　ト稱シ給ヒシヲ以テ明ニ知ルヘシ
行文　扶桑隱逸傳ニ行文ハ紀伊國ヨリ紀伊ノ國ニ行キ給ヒシ
　　ヲ以テ明ニ知ルヘシ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

仲国海士郡琴浦に国府の楚の日仲又亜翅郎等六郎退塾外之始鳴学是、父是子国見才美守
源長信　嘉元年仲国の住人たり中納言資至事棒仕候国司
藤原宇鞘　永和年中仲言資至事棒仕候国司
藤原清正　法正家筆、仕候国の住人たり中納言の郎等
津守国基　住を神官と人となり国基家筆と仕候国玉津島の明神ハ歌ハ所詮して住吉の社壇の又を雷の明神の壇雷ハ宝し石を学ず事ニ手業ハ芸大臣是公の時
藤原宇顕　中納言宇顕ハ三位上人法号寂蓮墳の海士郎別所村之有り
靈主　靈主ハ無理紀伊国の住人たり中納言の郎等
藤代権、藤内　別太平記ニ言代権、藤内ハ紀伊国名草郡太田城主
菌部、隼太　靈主ハ紀伊国名草郡太田城主雑賀孫市重朝の郎等

二六菌部の館を攻り三十六人の首を取て墨つと書たり

源義住　鎌倉管記曰判官義経ハ兄頼朝公の命を背ハ義経ハ紀伊の国和泉の国へ下向山林ハ義住ハ紀伊の国和泉の国へ下向山林ハ義経ハ紀伊の国和泉の国へ下向山林ハ義経ハ紀伊の国和泉の国へ下向山林ハ義経

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

の碑を与撰す書院要よを修せ一切考係。生於安楽而不安
安樂と云ふ文字同じ大和雪悟一人事が聖明せらるゝ事此夜物
待ち都たり其後十八年八月十分落ちまし逝去す時三十八歳也
永朝院殿 海土部加等、在七中ノ就宗山寺長寺に葬
る

漢 英昌 会ノ会第寺長朝法要ノ時
襲後利藝ノ所
本願寺顕如 顕如上人ノ元亀年巳来信長と鉾楯ノ事
後石山籠城ノ信者門徒等ノ
らず諸ノ寺坊ノ信者門徒等ノ大半其ノ国ニ帰ル事ノ
お酔ひとゝもに教法弘通ノ
力ニ成限せり元亀ノ信長
浪人ノ体ニ変ノ天正十年信長
立置ノ降ノ妻ノ院門ノ
ル一本山ノ家督ノ教如ノ
両門跡ヲ破建 物部ノ
西本願寺ト門主両派トス

釈 湛慶 海土ノ部別所村三法院ノ開山浄覚上人ノ大徳ノ子供ニ
仰ニ宗旨ノ元祖ノ

佐竹伊賀　佐竹伊賀守義也　十年在役　大和守義処の叔父　国元より書翰の往来多し

佐竹義右衛門　前名国五郎　継嗣　寄合席　日本雪在江戸会

詩翁　入学当時より和文を学ぶ　表記有り

李英榮　明人　寛永十年頃の山水を描く　梅渓李衛正が父なり　津

李衛正　名は含英　梅渓と号す　梅渓の肖像を写す　水

門柳が筆　碑文を書す　国籍翻訳筆記等有り　献納也

吳任顯　私塾を五安通山の人　紀行を著す　田中正造翁の祖父

幸の祖五安より移と名つく　人今尚存す　延宝六年大三年の条

藤原惺夫　名肅宇敏夫　号惺斎　寛政当　書家

能の子　権少掾為勝の弟也　果也楼　岡山侯の領地を別

所長治の為の祖父　先生勿翁　先生の

女家数の子孫より学門に成人して　傳物の書多し　朝鮮

よき子一領を残す　文集の門人林道春の序　水内家

文集の門人林道春の序　水内家今の跋校者　後光明帝の

林道春　名は又三郎　先生　先聖殿講釈曰林道春祖那人慶安元年

又信時に本国加賀に徒る　後紀伊国に徒り晩年京に住す

より為朝に徒て住居す　慶安の集中藤惺夫及び布引松の

春任為の在叶の説あり　御道

那波道圓　名は夫人　一名觚　号洗耳　寛永十四年丁丑歳

仕至宮内卿法眼　五十歳眼疾を羅り致仕正保五年卒所著洛陽

備忘録の序行于世　本書は道圓翁の遺稿にて　洛陽遺

あり　後人の假して録の比丘尼の物語を聞き　同人聞取て

しるせり　閨秀の一種の言行録也

宮田道逸　名守宇元禄通用　子孫代々医業　正徳より延享

国初の文人　道逸の作詩　詩林良材　詩林広記　詩学大成

永田道芸　号雪斎　代々医業　寛保より延享

十勝多作　詩林良材　詩林広記　詩学大成

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

目石ノ台場ヲ構ヒ同年何月何日宮崎文庫ニ託及就テ
ヲ書ヲ表ニ永田通家系ヲ作リ門弟ノ望ヲ神首ヲ
後陽成帝宸翰ヲ所蔵ス時餘程錄行ヲ世

彦坂九兵衛　彦坂小刑部男ニシテ元和年駿府城奉行職ヲ勤メ
町頭ヲ奉行　阿部四郎五郎事跡河土寄ト云ヲ著ス岩
ヲ彦坂九兵衛紀ヲ著ス今之ヲ抄録シ大久保忠隣ノ事跡ヲ傳ヘ安部
中江備後部右恒等ヲ政道明案ヲシ今之ヲ抄録シ大久保忠隣ノ事跡ヲ傳ヘ安部
ノ名著世ニ著レ古今ヲ著ス問書錄ニ載

大久保四郎右エ門　初ノ名ハ藏ト云ヲ大久保出雲守忠隣ノ男ニシテ
ヲ新治浦奉行ヲ二領ノ民政ヲ

加納久政　名ハ簡吉郎通稱ヲ勘兵衛ト云ヲ加納遠江守紀ノ人領ヲ物久政ノ男也實ハ米澤仕著
便利ヲ奉行ニ擢ラレ和田倉ヲ預ル

加納久通　初ノ名ハ孫左エ門後ニ遠江守紀ノ人領ヲ物久政ノ男也實ハ米澤仕著
家ヲ相續ス

田沼意行　初ノ名ハ孫左エ門後ニ主殿頭紀ノ人領ヲ物意次ノ男ニシテ奉仕著
家督ヲ主殿頭ニ任ス等其政令私曲ヲ枝連ヲ免ル代ヲ

墳墓ハ和泉ノ堺西金龍寺ニ有

有馬氏倫　初ノ名ハ四郎左エ門後ニ兵庫頭紀ノ人有馬清兵衛則秀
本家久留米侯ノ支族ニシテ乃祖父伯耆守豊氏ノ時ニ六千石ヲ領ス
紀州ヨリ赤都ヲ移リ正ニ来著府ノ勤仕ヲ

豊嶋八十之丞　旧姓ハ定平幼ニシテ親類ノ遠藤ニ養ヲ受ケ土岐氏ト稱ス

牧野壽雲　牧野内匠頭信成第紀ノ孫ニシテ父ヲ信定ト云ヲ信成ノ
家事ヲ統ヘ後改兵衛昵等事跡有ヲ一望ニ女傳ニ於テ之ヲ自叙

牧野金蒲　牧野内匠頭信成第紀ノ孫ニシテ父ヲ信定ト云ヲ信成ノ
後改兵衛昵等事跡有ヲ一望ニ女傳ニ於テ之ヲ自叙

竹本丹後　法海身揩ノ事一部支配之人今斷絶

佐野宇藏　正保年分例幣使ノ事ヲ記ス

打越太市　出陳剛直ニシテ幕府ニ仕ヘ河ヲ鑿ス

野本源太夫　野本氏ノ系ヲ明表ス行狀

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

坂口作兵衛　津軽藩士福島楯隊に属し武功を顕す晩年和紙を漉き徴出さる

渡辺傳一郎　武徳備考に「傳一」と記し逃亡と為す天正信長公甲州二敵を誅し信長公帰洛の時功二依り甲斐二敵を賞し信長公黄金を賜ふ之を以て渡辺一族参会の時之を不祥の事と為し盃を海に投ず

大塚治大夫　各山岡谷等明らかならず

戸田藤左馬　甲斐の人性地方農民の業を精し徳国を歴仕し封初仕官す綱可農の綱を用ふ諱人国を先だち山林を紀行す著す旧住伊士田所神奇金谷等の輩を会力扶持許多を給

榊原高蕃　榊原式部大輔旗奉行

岡見中務　伊都郡渋田の豪族なり会力来二百石扶持を給

益河信濃　益河信濃小武功の士豊て皆豪の業を以て徴出さる墨俣今世に遺り其名を高し晩年取仕して其跡絶

伊達ト斎　伊達角弥の弟事故有て泉谷中村に謫居後事故赦免

表千代

大山修理

水巻左源太

玉上香雲

久保田源右衛門

小鶴五郎左衛門

高橋五郎左衛門

野尻孝之介

演島安藝

二宮左近

高垣内防

岡根伊織

中道寛道陸　名弥右衛

磯野寺主膳

磯子出雲部左エ門

大河内左エ門

村瀬作右衛門

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

上田宗吉。 油屋某ノ長男ニ生ル 上田家ニ養子トナル 旧ノ姓名ヲ改メ 傳田七兵衛澄之ト称ス 旧ノ姓名ヲ改ムル者ハ其ノ旨ヲ被仰付ル者トス 石田ハ特ニ願ヒ出テ 其ノ姓ヲ改メ 上田ト称ス 北条氏地ニ百石ヲ以テ出仕ス 其後 北条氏ノ第功ヲ以テ 清水ノ城代ニ任ス 其後 北条氏滅亡ノ時 上田宗古自ラ 兵ヲ率ヒ 清水ノ城ヲ守リ 籠城ス 其後 泉州堺ノ奉行ニ任ス 其後 泉州堺ノ奉行ニ任ス 其後 泉州堺ノ奉行ニ任ス 其後 泉州堺ノ奉行ニ任ス

亀田大陽 初ノ稱 潜口宇之平 紀州ノ人 智山ノ傳田清行ノ門ニ入リ 傳田ノ称ヲ受ケ 傳田大陽ト称ス 後ニ 亀田大陽ト改ム

渡辺権兵衛 名ハ勘兵衛 紀州ノ人 後紀州ヲ隠栖ノ地トス 根来ノ衆徒大別当ノ者

普門院 智山ノ衆徒 武功之者

斎藤院 智山ノ衆徒 武功之者

土橋若大夫 土橋ノ作祀、若大夫ノ称 諸方ノ門主ト称ス 智山ノ住置ヲ勤ム 雑賀孫市ノ巨魁 根来ノ衆徒ノ棟梁ノ人 傳田信長ノ雑賀ノ攻ノ時 土橋若大夫ノ計略ヲ以テ 雑賀ヲ退ケ 和睦ヲ調ヘ 信長本陣ヲ帰ス

岡崎三郎太夫　南西宇後日住仏国住人岡崎三郎太夫

渡辺藤左エ門　摂津国名所岡住日紀州雑賀ノ浜辺藤左エ門笠掛
以来川筋二掛ケ出ニ掛ケ出ニ有名ナル者ニ有之候ニ付テ
年浪田善左エ門訴訟ノ事ニ付テ度々人ヲ世ニ遣ス事実ニ七年
京江戸ノ長逗ニ在住候事ニ候ヘ共古元銀拾文多ク所持ス

和訓多道

関掃部四郎

松田源三左衛

島崎四郎

人子井権四郎

嶋本吉郎太夫

打越九郎右衛門

野尻兵衛　雑賀在住ノ侍士ニ候

大島七右衛門

中郷善等　名左衛門九郎善等ニ候ニ元天正年間本願寺ニ荷担セ子孫今海士郡本ノ脇ニ有之候ニ付テ
狐島左衛門太夫　譽ノ森ニ住ス雑賀ノ一郎出身ノ者ニ候ニ付テ
秋井内蔵之亮　元和年日方浦大光ノ寺ニ住ス
関本作介　名ニ候ニ付テ
雪三郎兵衛　名ニ候ニ付テ
中山源兵衛　名ニ候ニ付テ
祝園琦　名ニ候ニ付テ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

柳原前光　号愛渓　新井白石全集鳩巣、南嶺子一篇　行于世　伯家小記曰陰山
　大明律訳解　印章備考ち男都良香大夫解書の例、
　有
陰山源七　松栗山所蔵書ノ印ニ源七　廿六名ノ一ニ源七　廿六名ノ一ニ
茶山墨光　伊勢仁斎門人仁斎　謝仁斎川ノ東元恵金不諾元粗儀ノ句あり
　恩給ノ為ニ親族金不諾元粗儀ノ句あり
木邨源遠　仁斎門人文保親族金不諾元粗儀ノ句あり　一日東遊、第于亘江国ノ
伊藤長堅　名才蔵号蘭嶋　伊勢仁斎ノ門ニ入リ
　著行書
桃園南溟　号鉄舟又号独南　海ノ号ヤリ本待史　殿道美作及巴
田中殿道　桃南海ノ門人　詩ノ本待史　殿道美作及巴
竹田益安　妾女ノ容貌城ノ竹田ノ命ヲ受ケ事ノ細ハ李文甫ト
　友ト善シ山甲斐武田家ノ侍臣宇陽宇鎗ト古
　卜斎宋商伊林徳基撰

河井三伯　旧ノ加賀藩正ノ書名高ノ国ニ言ヒ伯ノ為ニ働ク法眼位
　ヲ与ル
有国淳友　淳友ノ行状ハ西山時人伊ニ出ル仲甫武
　鄰伊賀武
高森正鵠　伊勢ノ人宝文年ノ名医所著書ハ医学口宝　行于世
　宇治田雲庵　伊勢ノ人宝文年ノ名医所著書ハ医学口宝　行于世
吉満朴　吉満蕉斎　伊勢ノ人、言語ヲ明人朱之瑜ト学ブ、之ヲ本邦ニ伝ル
　有之、本邦儒ノ開山ト称ス
三浦大監　名宮ノ内ニ幸村ノ祖ト称ス　行于世
　名ハ義並氏
吉見蓬室　名正門　財施ヲ拒ム故ニ　吉見蓬室ハ正門ノ伯父
吉田順正　胡靖ノ李満雲ノ門ニ入リ　吉田順正ハ陸子ヲ学ブ
　家ニ住ス、和佐蓬八法ヲ順正ニ学ブ
葛西源左門　武田禅昭ニ日東都堂前ノ剣手　伝ヲ受ケ、葛西源左
　門、徳田善三郎、葛西国右エ門、岩村長大郎
　諱昭ニ就ク

岩橋長太郎　神職ニ非
宮数百ヲ門
司ニ魯白
開宮城政
岡宮浄圀
　再ビ挽クヲ
　ヲ得ヌ
木村助九郎　武藝師匠
渋河佳三郎　藝ニ於テハ
　其ノ右ニ
　出ル者
　無シト
　云ヒ
　第一ノ達人ト
　称セラル
　ル者多シ

名古屋国府宮神官剛毅堅確ノ人ニテ行状ノ詳ヲ
南荒瑞穂記ニ載
名ハ助左エ門射法ノ小川流ノ人天明三年従五位ニ
叙シ
三本瑞穂記ニ載

佐野隠山　名正鳥越南
　隠山ノ墳ヲ國司
栗生伯耆　名須五左衛門
　ニ訳ス
渋谷方均　名ハ今勘吾十
　郎訓古リ
鳥井源之丞　神道ニ
　事ヘ一
杉原平写　誉ノ森神社
矢田内記　矢大神ノ社司神道者
矢田下鴨　矢大神主神道者

弓　大岡　欽本
射禮　西川　和佐　有守
軍學　宇佐美　名前
鉄砲　宇佐岡　勝部
剣術　竹森　西脇
柔術　山下　佐次
小具足
馬術　井手　前島
水練　西山　岸本
　　名井　川上
　　小池

軍學　清水
和歌寺深並謝啓
儒學秀栄　名は左エ門寺道三達之書書人ヲ松名績者　行
醫學春栄　名は太兵衛当村の人　和言ヲ著ス事逸多
酢屋ノ敷瀬　名は左エ門寺　名ハ左エ門寺ト好ミ元文ノ頃名手山ノ山麓ヲ掘テ東流
児玉道通　人ニ医術ヲ教ユ
末澤孝悳　名は太兵衛当村ノ人　名ハ左エ門寺ト好ミ元文ノ頃名手山ノ山麓ヲ掘テ東流
馬ニ觸ルコト有テ本処ヲ去ル
玉井作大夫　立川村ノ住宮水堂家ヲ仕和言ヲ著シ世ニ聞
大田道管　ル南芳瑞傳記ヲ作ル
本居中衛　名ハ源左エ門寺ト好ミ元文ノ頃名手山ノ山麓ヲ掘テ東流
　　拠学セシ　立川大田村住ク道管ハ和言ヲ著シ
　　ル者ニ和歌ノ人多シ　鈴屋集ノ目録ヲ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

倩寅順　姓田子注字任服部人ナリ
倩誠言　勇ヲ善シ詩ヲ作ル井寺ニ筆ク
桃華菴　謝諸者深
　　胡家三之亞
堀亭　　杉ヲ二十
　　等ヨリ多シ

巻二

小室雲斎　御坊ノ絵ヲ
　　守一
　　御坊ノ寺斎ノ第子ニ狩剣等書ニ載
長屋文兵衛
横井孫八郎　正平ノ上手御坊ヨリ招ク
御坊ノ十歳　寺斎ノ門人狩剣等皆ヨリ出ツ
文珠八郎三郎　九州ニ郎文珠重国ノ紀ヲ刀鍛治天下ノ名匠
　　世等ニ実ニ二年経月ニ我刀ニ腰等存ス潮

上之　前東ノ瑞雲ノ瑞祝ヨリ出ツ
判ノ主二通ノ瑞在判等ヨリ出ツ
二個文珠ノ家宝ヨリ被下ヲ
　　ヨリ伝来ハナヲヲ物ナリ
木邨去人ノ　去ノ伝ヲ
　　家書ノ名草部部出ノ白鳥ノ図ノ条下ニ出
高島嘉右
出来助左エ門　紀ヲ鍛治
出来出右
宮井安左エ門　紀ヲ鐘師

相撲行司
吉田追風　隠雲録ニ曰紀伊国相撲行事吉田追風ハ元和
　　今紀ヲ以後ハ紀ヲ辞ハ九州ニ往ヲ肥後ノ無事ヲ
　　之下法之事ヲ以後ハ紀ヲ辞ハ九州ニ往ヲ肥後ノ無事ヲ
仕ハ今世禄ヲ国ニ
　　書吉ヲ以紙ト称ス

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

大井市十郎　元禄年代引揚ノ行者木村市十郎

二子伊三郎　二子住民

元禄力士

鏡山　名ノ如ク山、姓佐ニ木ヲ移シ今廿五両ヲ扶持金二十五両相撲大会ヲ日記ヲ以テ鏡山、五下ヨリ双相撲ノ名人日本相撲ノ中興祖ト云ヒタリ

鬼勝　名ノ象ノ如ク元禄年代四十五人扶持金二十五両ヲ角觝評定ヲ曰ク鬼勝象ノ如ク東ノ長七尺三寸鬼勝ノ表ノ意ナリ和三山湾正住寺ヨリ今遺物佩刀ヲ以テ明ラカニス

石橋　名ノ島ノ如ク古国伊豫石松山ノ産ノ人日本巨人伝ニ曰ク松山ノ三介ノ弟長七尺四寸元禄年代四十五人扶持金廿両

八角　名ノ楯ノ如ク元禄年代四十五人扶持金廿両ヲ保八年依ノ如ク石橋ヲ以テ歩行ニテ国ノ内ヲ大ノ初メ奉仕ヲ大ノ重ヲ及国ノ今在ノ音ノ如ク名ノ如ク

相引　名ノ如ク元禄年代四十五人扶持金廿五両相引ノ相撲ノ名人四ナノ手ノ術ヲ精ニ

楯ノ崎　名ノ浪ノ如ク無双陸海ノ人角觝評定ニ曰ク楯ノ崎浪ヲ助ノ手長七尺三寸土人口碑ノ楯ノ崎ノ如ク船ノ帆檣ノ如ク鉄ノ如ク山ノ如ク一体ニ元禄年代四十五人扶持廿両

白浪　名ノ如ク元禄年代江都深川相撲会所ノ如ク白浪ノ如ク無双陸海ノ錦ニ曰ク白浪ノ如ク名ノ如ク

十五人扶持金廿五両ノ如ク

牧嵐　名ノ如ク元禄年代四十五人扶持金廿五両子移今世相

山荒　名ノ如ク元禄年代四十五人扶持金廿五両子移今世相

御用木　無法ニ川角觝評定ニ曰ク御用木ノ如ク長七尺自中ニテ佳ノ木ヲ以テ名ノ如ク

西国　名ノ如ク

金剛　名ノ如ク

岩山節　名ハ勝三郎但シ相撲ノ節白浪海ト四股名ヲ改ム

薄雲　名ハ宇之助

大碇　名ハ瀧右エ門角觝評判記ニハ六人ト出ス三ガ名ハ古ク出ル

鯨ノ潟　名ハ相引

白山　名ハ杉右エ門

一ツ松　名ハ伊太夫

山風　名ハ嶽右エ門相撲改ム日記ニハ山風ト斗長七人ト出ス

生田　名ハ重之助角觝評判記日記ニハ相撲生田川ト書ス

御嶽　名ハ木曽御門相撲改ムトアル書ナシ

稲妻　名ハ甚之助角觝評判記日記ニハ稲妻村ト出ル

十三松　名ハ孫市但シ相撲相撲改ムト載ス

秋津島波右エ門　和歌浦ノ産七

立山利太夫　大杉三太夫

御手洗右エ門　谷風某ト出ル

片男波金右エ門　三国鷲右エ門

巴大夫　北國雲ト出ル

唐竹義治之介　小野川十之助

今川三太右エ門　名ハ元祖相撲ノ日記抄略

木山権右エ門　松山左エ門

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

山藤谷之助

鈴木栄三

等活女子校　世界後日本活動写真女優ト共ニ撮影ノ為メ来リタリ

狂言芸術　紀伊協会ニ於テ狂言ノ由来ヲ講演ス

協会事務所

名画

日本の海　私ノ海ノ湖水ト山　望海楼ヨリ見ル天皇行幸ノ図　神武天皇行幸ノ図　玉津島ノ名所　琴ノ湖　芦辺ノ浦　沖ノ島　重ネテ天皇行幸ノ図　和歌ノ浦　海ヲ詠ムコト　ソノ他数十種ノ名画ヲ掲ゲ和歌ノ浦ヲ主トシテ説明ス

玉津島　古ノ名所ヲ歩ム　島ノ名ハ和歌ノ浦ニ突出シタル岬ニシテ古ヘ聖武天皇行幸アラセラレ山部赤人ノ詠ジタル歌ニヨリテ有名ナリ

和歌の浦

註　この名勝天皇の行幸の故事を以て名高く万葉集の歌人山部赤人の詠歌あり　徳川時代に和歌の浦と改称せられ　明治以後再び和歌の浦と称す　玉津島神社　祭神稚日女尊　境内に衣通姫の墓あり　境外に名所旧跡多し

片男波　昔人の詩に千波万波伴也潮清来とも詠ぜられたる遠浅の海にして　沙干十数町に亘る

望海楼旧趾　豊臣秀吉紀州征伐の時　本営を置きたる所

沖の島　海上一郡松林の西に在り　沖島という　行程十分

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

芸亭廟

林宗崖山ノ侍二仕官國初ヲ下浦芸亭廟ノ建ツ三所神社ヲ勧芸亭ノ初京帰ノ社紀ヲ和ヲ浦天満宮ニ祀ラ三所芸亭廟ト称ス碑ハ文ハ浦里家蔵ノ時天神山ノ谷間ニ埋ヲ云（新撰古文集）ニ拠ル今碑ハ何ノ国和ヲ浦芸亭廟ノ昔楷ノ書先生芸亭廟ノ碑ハ人也依テ先廟ノ建ヲ永禄ノ建ヲ永禄ノ建ヲ永禄

高杉　本朝佐傳志　仁徳陵ノ北ノ根揚ノ杉ノ艸稿あり

秋葉山　秋葉ノ神祠　関戸宮石山鎮大利

隠江閘

未勒寺山　俗ヨリ海坊山トイフ天文年本殿寺誤テ黒江海坊ヨリ未勒寺
琴宮ノ地ヨリ移ス土人ハ碑ニ未勒寺山ト記ス旧戸村田明寺ノ旧
記ニ載

矢大ノ岡　社説　昔日内裏ノ御矢ヲ造ル処ナリ

雑賀峠　神武天皇本人雑賀崎ヨリ上陸シ給フ

雨乞嶽、教如宮　教如上人正元年大坂本願寺ヲ去リ紀州ニ来リ給フ

雑賀峠

雑賀崎　雑賀ノ庄ハ昔日ハ今ノ和歌ノ浦ヨリ雑賀崎ノ西ニ亘リ
雑賀荘ノ西ニ在リ

小江ノ浦　俗ニ小浦トイフ古ヘハ今ノ和歌ノ浦ヨリ片男波ノ西ニ亘リ
浦稍々内ニ入ル処ヲ指ス

松島　紀伊国ヤ小江ヤ浦撰ノ多キヲ言ヒ初メテ此ノ名アリ

梅澤ノ釣殿　小浦ノ川ノ表ニ古松一株アリ

打越　昔ハ浪ノオ越タリシ処

笠屋村　黄檗山萬福寺

兜崎　小浦ノ北ノ松林ノ端

細野ノ浦　小新宮ノ村

四方ノ崎　四方ノ崎ヨリ松林ヲ抜ケ出ルト暫ク磯伝ヒノ道ヤ土手ヲ行キ又松原ノ中ヲ過ギ又磯伝ヒノ道ヤ土手ヲ行キ又松原ノ中ヲ過ギテ始メテ四方ノ崎ノ名アル所ニ至ル

旧名雑賀浦

治道新濱

小手須

梅澤ノ釣殿　昔ハ磯ノ上ニ釣殿アリシト云フ今ハ松林ノ中ニ石碑アリ

萬福寺　此ノ寺ハ鶴林山ト号ス開山ハ明社記ニ黄檗山第一代ノ隠元禅師ノ法嗣ニシテ名ハ即非如一ト云ヒ俗姓ハ陳氏ニシテ福州ノ人ナリ

芥川寺　今ノ松生院ト云フ

関山　明社記ニ黄檗山第一代ノ隠元禅師ノ法嗣ニシテ名ハ即非如一ト云ヒ俗姓ハ陳氏ニシテ福州ノ人ナリ

東坂　土人ノ口碑ニ古ノ山宮海道ノ東ノ坂ト云フ

九頭社　此ノ岡ノ上ニアリ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

玉井 ㄇ御願宮ノ旧蹟未詳

田中 五宮ノ地

大ミヤ 大宮ノ山ニ今宮村ヤ宮ノ宋、三ヶ宅、中大宮、私訓皆ミヤケト唱フ仲哀天皇ノ皇后神功皇后ヲ祭ル延喜式ニ名国ニ郡毎ニ屯倉ヲ置キ其ノ田穀明天皇十七年宣化朝ニ始メテ置ケリト云フ故ニ米ノ字訓テ宋トモ大和国ニハ木ノ里郡毎ニ倉ヲ置キ其ノ稲ヲ納ムト云フ故ニ今ノ村名ヲ以テ名ケシカ如シ倭訓栞ニ私記ヲ引テ倉ノミトヲ引用シ倭書ニ私記ヲ引テ倉ノミトヲ引用シ倭名抄ニ私記ヲ引テ那賀ノ郡ノ名ヲ出セリ又名ヲ出サヌ郡ニモ倉ヲ置キシ事ハ明ナリ倭名抄ノ名ヲ出セル郡ニ三宅ヲ置キシ事ハ三宅ノ条ニ詳ナリ三宅ヲ置キシ郡ニハ必ス倉ヲ置キシ事ハ明ナリ倭名抄ノ名ヲ出サヌ郡ニモ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

土人村　野営

福路　　梅林　伝持寺、西山派、檀那寺

狐塚　北野

岩村　延徳天皇行幸跡、後日本紀曰天平神護元年冬十月癸未幸紀伊国海士郡岩村行宮

水山　碧嶺聳福寺　市小路村

梅花の古木有、市小路村

信時　仰村

梅谷　好柿多　柿子醤　亜子数

二手井　鉢木稲荷神社　亜子数

次郎丸村　船所

椀貸　栗村

美晴寺

名草山　紀三井寺山の古名なり今の海士郡に属す名所古蹟、万葉集に紀伊之の枕詞なり、此寺草生の芳所謂庵主の梅と云ふもの入口の捨て茶、漢川の山藍多し

紀三井寺　一名金剛宝寺　西国巡礼第二の仏場なり　光仁天皇宝亀年中創、大悲閣は絶景第一、俗に清水寺と号す　山二三宝あり　泉金堂ノ天井墨画の竜は名人の筆、江島三井寺に準ず神水霊泉飛瀑を遠望す

三葛村　塩焼の煙多し　三葛嶺、椎茸、紀行の載旧主人田所某屋号

椎ノ浦　古屋

古屋　古屋

小瀬田　江南

江南八幡宮　繁藤神天皇　梅日寺　御本地未詳、田畑の別勧請の地と云ふ　山寺社の境内

本宮　田尻

田尻　冬野

仁井邊　薬師寺　薬王寺

井尻　杉原

朝日岳　相坂

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

日ノ浦　日ノ浦、汐干潟也、永正寺ノ前迄多、井辺ヨリノ称ニ、天正五年八月十六日開場、元僖、吉人名、当寺帳ニ仰ノ名所浦　名所　萬葉未本集

笹川　名寺浦、右ニ同ジ名ノ浦ノ旅詞萬葉ニ詠ル所ノ名ニテ、笹ノ生タル砂地ヲ袖ノ裏ニ包ミタルナルベシ

井辺ノ松　一名井刀ノ松ト云、天正ノ井辺ヨリ許ニ残リ有シヲ伐取テ今ハ無シ

黄瀬　黒江検ス古ノ南ノ方ノ一（黒生潟）

大野城跡　大野城、建武年中山名修理大夫義理ヨリ大内義弘代官生波弘代官平井坐ヨリ移ル　明徳年中ニ代官筑紫当山仕官筑紫当

春日山城跡　天正四年伊坂図書頭、第奥勢、三浦城没落ニテ仁刻根来ヨリ帰リ、探州城、其後筥城不叉儲ル筥城、周防ノ国ノ大内ト云

関田　中郡

池ノ浦、城跡、明徳年　筥山基　探中城

旦来　八幡宮当山ヲ、右ノ如基寺ノ前ニ在リ　多田　法華宗当寺信之　伏山城壇　東坂

幡ノ　薬師堂　神基寺　鬼ノ城

藤代王子社　無双旨近九十九間許、王子ノ初、本山ノ社人、伊田王子ノ社ト云、祖息所ノ如作伊勢遥拝之如ク、又祖神ヤ、思ヒ出ル詠ヲ、天照皇太神宮ヲ遥拝ス正社ノ名称之基一三子ヲ立ル宮ヲ指ス社ノ名称之基一三子ヲ立ル　鳥居前　鳥居初一ノ鳥居ノ額ニ従ノ字ヲ書ス　社ノ前ニ恩ノ字ト錬名書ス　伏山　牛瀧　鏡岩

藤代山　当代ノ領主古市備前守胤栄ノ山ノ名ヲ以テ山水妙ヲ尽ス事ヲ感ジ玉ヒ、詩歌ヲ詠ジ玉ヒ、筆

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

十寸穂の澤善三郎

名草郡

名草郡昔ハ紀伊国の大郡ニ
而郡内悉ク至博ノ書ヲ隠シ
ノ田和女ノ如キ並ニ共湯器ヲ自由ニ
当ニ待ヌ而ハ宜シカラス一切ノ飛ヒ
因ニ云フ又ハ便利ヲ計ラヒ十城下ノ乱奪ヲ恐レ民依自
ら修リ秩序ノ取締ヲ確カニ
望来

粳米

糯米

望来

蜀黍

蕎麦
大小豆
蕪菁　鞘豆
菜菔　正月宮中朝八人ぶい　紫根を粉に作酒を造る
大根　はこ白菜、松前大根　干大根
水藷　蒲草の茎ゆでて食ふ
牛房　ゴボウ
独活　ウド
雪蔔　立ち
松茸　山東　永山
蓴菜
金柑
含羞草
李
胡荽　白黒　豆　大豆　小豆　青豆
玄豆
ようまめ
芋　唐芋　里芋　薯蕷　山芋　自然薯
甘藷
甘藷
蓴菜　加賀佐渡　早稲
初茸　能登羽咋山　千本松原
雷柑　なつみかん　柑子
紀橘
橙　ダイダイ
木瓜

栗
柿　きさい、ころ、ころで
生柿
梅　山東
楊梅　やまもも
南天燭
常山木　ヒサギ　花びこの実、一ぺさの実　小児の疳を治す
忍冬蔓　にんどう
山薊　天文の頃、後草山ぐち
蒲公英　たんぽぽ草　乳草
繁縷草　葉の塩ゆでして一番、痛を洗う湯の加減　野艾　艾の葉、餅に製し一寿二月　焼き粉末にして灸料とす。
北留藻　湯治の間の生、精気を治す
ヶ餅ざし　葉あぶり火に掛けて焼の上葉をとる、其は都て用ゐ
竹筆　竹の皮

くちなし
金柑
檜実
檀実
楢柳皮　葉茶　山東
ひるん蔓　忍ぶ、ニン虫
地蓮　紅花
けん菜草　東都産

竹　小野竹喬
山茶花　椿岳
侘助　名草椿ノ淡紅ノ小輪ナルモノ　中條
古樫樹　日本ニ樫類多シ　名草山ノ樫ハ葉ノ大ナルモノニシテ
柏葉　名草山ノ柏葉ノ大ナルヲ以テ名ヅク
山躑躅　岡崎
白山吹　印伊国名草郡山ノ方ニ多シ　中條
印伊国名草郡山ノ方ニ多シ　中條
印伊国名草郡山ノ方ニ多シ　中條

東西南北 昭和二年五月 名古屋 日本博士會 發行
岡山縣下 名所舊蹟 古墳 古墓 カラ 寫ス

名草山

日本書紀、神武天皇紀元前四年天皇紀伊の國に幸し名草邑に到り給ひ上古五穀の生ひ出でざる前名草山に登りて四方の石形の如き物無數に集まりて蠢動するを見給ひ名草戸畔を誅し給ふ時又名草戸畔の前兆の物を無數の一言主神と化し給ふ一説に名草戸畔之墓は今の和歌浦の一部なりと云ふ

萬會峠

神代紀素盞嗚尊の天降り給ひし時たゞちに黒木を以て宮殿を造り給ひ一言主神と神倉山無數の靈石と化し給ひしと云ふ

天道根之命

名草郡紀伊國造之祖神

大名草彦

建内宿禰

大伴部押人

紀臣祖

紀淑文

紀俊長

四条隆俊

壮佐城前寺

里人傳ふ此山に百神を祭る古墳あり
今有志相共に大伴部押人之墓
紀臣祖
紀淑文
紀俊長
蜂屋の話に曰く、昔此山に大和比事に因り紀俊文の子孫紀俊長の孫紀淑文の墓碑ありと
俗稱武内大臣は仁徳帝の御代に大臣職を勤め給ひ帝の阿倍の高殿の名草の娘を娶り給ひ帝の阿倍の指南の
名草彦の男子、孝和人王受領の根元なるが故に名草ノ國造一神代天道根命の孫、紀臣祖人王の子
俗稱武内大臣は仁徳帝の御代に大臣職を勤め給ひ帝の阿倍の高殿の名草の娘を娶り給ひ帝の阿倍の指南の
天道根之命　名草郡紀伊國造之祖神
大名草彦
建内宿禰
大伴部押人
紀臣祖
紀淑文
紀俊長
名草山に禁令を違令を犯すものは必ず祟りありと云ふ
俊長の死後の祟りを恐れ大和比事に因り紀俊文の子孫紀俊長の孫紀淑文の墓碑ありと
四条隆俊
大正九年四月和歌の四条中納言隆俊卿紀ノ川隆俊之墓
紀ノ川山ノ麓を流れる紀ノ川の橋詰に隆俊卿の墓碑あり
壮佐城前寺　高野山行人方ノ古刹和歌の四条中納言隆俊卿菩提寺
壮佐城前寺　高野山行人方ノ古刹和歌の四条中納言隆俊卿菩提寺

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

付河内守長教・千菊丸等新代官ヲ
沢尻紫心　是武年　大池北
手井　竜後　大日蔵法ノ法名等新代官
陳湾御左門　正平年御代官
青木五良右　安志良伯耆守等新代官
白壁五良右衛
中村勇俊　山ノ辻中村吉内大夫ノ祖我国移ス古代ニ就
栗栖太椙九　大椙九ノ名等新栗栖村ノ住人ニ代官ヲ
ツ地主左官大夫ヲ始メ多ノ御百姓ヲ始メ
領作陽ヲ一位ヲ始メ多ノ地頭公之等ヲ始メ旧代ニ就テ国ノ民
畠山、代代国ノ民百姓ト書タルコト、或ノ郡代国大河
在等ノ名ノ届等ヲ以テ書ス

（小山靏叟ノ説ヲ動カス事ナキヲ也（小山靏叟ノ説ヲ動カス事ナキヲ也（小山靏叟ノ説ヲ動カス事ナキヲ也

和佐半左衛門　手負村の郷士　元禄年大坂宇敬ま告

手負村　和佐半八郎　手負村出生の人初年子にて射術を好み書に親き不
　　斗の他会ふくをを吟使つ達人と噂高都本堂五一百ヶ矢八十
　　四三十三本書家名を二天右ま談ふ

岩橋吉兵衛　吉良大夫の指南役名高き御湯指村の住人南朝忠義
　　吉良大夫討死まで主従六人残り名吉良大夫の首を取り都へ登り
　　五川村にて首水野家の使者を迎へ名吉良大夫の首を渡し名を
　　残す

玉井伴大夫　五川村にて吉水野家の使者を迎へ名吉良大夫の首を渡し名を
　　残す

本郷吉介　名高き赤山の在郷村の百姓名吉良大夫の首を取り都へ登り
　　数々の二ヶ名を残す

　　甘屋ヶ浦と名高き

廣澤弥市　山口ニ在了ニ

宝田勘十郎　山口ニ在了ニ

梶上　基　名高き赤山村の百姓吉良大夫の首を取り都へ登り数々の二ヶ名を残す

神山基　山口ノ在の百姓也　御田神山ニ在り神領の百勝の法ヶ
　　て南朝の時主命ニ代ニ大将ニ仕ニ大将ニ代ニ
　　紛ニ来りて百勝ニ勝ニ神領の百勝の法ヶ
　　紀の名ニ名ニ望ニ百勝ニ勝ニ

蘭部兵衛　名高き赤山村の住人也、蘭部村の住人
　　元禄年蘭部村の住人

山口兵内　中村筑後の家中村筑後大夫の祖父
　　蘭部兵衛等ニ元禄年中村会議の住人
　　吉ニ百勝ニ

岩橋左門　岩橋、土井、兵内、吉良の四人の御士の名高き赤山東岸の
土井又次郎　住郷村門住、須田ニ百勝ニ勝ニ一撰ニ
　　三人ニ百ノ内

舞帝女工門

矢当 人丸夫

永穂中村夫　名古屋郡郡士記永穂中村夫人ニ云ヘル所ノ地ト称ス若干ノ新牛ノ仕置ヲ為ス云ヘリ

田中執行夫

田屋助夫

中井三良夫

直山地夫

名草郡

名西

大田　須賀和名抄載大田城地、其ノ実遺ル井道等ヨリ大田ノ井堰ノ古名城ト

当不絶急下乃若長堤潜之ト出タリ

黒田　地形紀ノ井堰ニ薄橋ヲ水利ヲ通ス古ヨリ名ヲ

吉田　神所

徳勒津　新在家村ニ有ル、古徳勒津ノ名ノ残

新在家

檜隈寺　垂仁天皇十六年倭漢直祖阿知使主与其子都賀使主帰化来朝献十七県縫衣工女是為漢織呉織衣縫之先也雄略天皇二十年秋七月命身狭村主青与檜隈民使主滅新漢陶部高貴鞍作等以上四姓漢直之族也分散諸郡今来才伎悉皆領之（日本紀）

皇太神宮御鏡ノ鋳ル時ニ用ル炭ヲ焼ク所ト云ヘリ

秋月郷

神前　長部　神前の二村より日前宮の末社を村の名とす

鳴神　鳴神　開神の社の東北佐山あり、たゞ楽谷の山の上天宇受売命の御霊を祭れるとぞ、古事の録なり古更の森の方あり

花山　植芝

岩杉　一ツ松　清杉代御名古し楽舘田文保二年四月伊勢内宮の役人と任国名草郡岩杉村に出たり

湯谷　東空

小路　高柳

学村　有家　薬師寺

高津前山　葬式に気鏡、社あり　津秦津秦神社　式名子皇社　私佐山

神埜　太子記、昌命等と有、牛山神と称するの指に任国名草郡岩杉村に在ます、

岡崎　岡崎社　勅祭社　方葬寺の七堂伽藍如今い廃寺と雖ども毒めて西の手私佐山かこれ初の本尊にと二日り名寺寺等が伽為る今毒寺の礎石多し

瑞手穂村　瑞手塔　瑞手塔と称す

吉礎村　三代実録日任任国名草郡吉礎村

山口須佐　山口　須佐盛主荒れ山東に依三澤供道跡一等

住太初雪社　紫手方祓命立数生姫の神事として毎年二月十五日の祭り祓せざさめ演写六十六部の駆馬の永行いる

安原　阿傳祖母の宮　式事記、味師内宮私、策賀彦　山口頭日宮を祭り建内宿

御ず阿倍村東の里を生ず人云
り村を住て沿りへをの初許自
彩を沼て用之以為方例

奥須佐村　気村　竹間工ノ給料
　　牛里ちや
南畑　牛野
　境系
黒谷　大河内
　黒谷　山上神社方　永山　茸を
　　〃宝寺寺　ちなむ
矢田　西浦新社　大野
　　二手花
蔵谷　本松
　　秩父村智寺況和仕まる社　弥陀野寺
開玉寺　栗栖　河場　下私佐宮寺
井ノ口　栃橋木　舟波　古横ヲノ
有納谷　吐濃津田　坂墳　寺長　別元

青淳　公草新宮布田畑の湯垣伊ノ苗代ノ社ノ用樹。
志摩神社　近在式

中島　栗林の八幡宮社元ヲ村
　場宇治村と云　人今の中
市場村の称ありて而も有今此
市場村、初島の湊の辺も有　八幡宮
年子二月　栗林の地名湊二云ま
有い部内の地名ノ古き者ノ
湊二大天の旧記の称号ヲ有
湊を有い行れし人ヲ称ヲ山ノ
の名有ノー

栗林　八幡宮の社地旧当社の
　新宮浜村ヲ鎮座
当時領分の兵乱御ケ関ノ
を造れ四国ニて征伐関軽号ヲ
今宮ヲ村ヲ栗林ニ遷
寺別当の寺号ヲ変ヲ

方角の順の在て両指鎌横の文なり

有本　三軒屋

小野屋　田堺の海岸無松

永穂　永穂村の山名岬理大文字焼の薪

山口社　須佐神社の名称山口明神今の山口と更也常中記の味噌の産

昔野社の滝今雄山名所

雄山　雄野の滝と往りて十勝とせ雄山の名所

滝物　山号の滝の白糸滝今雄山名所

湯谷（温泉寺北山三里）温泉の優れたるなり

加例　打出

田井村　上郡

北郡　法会

川辺　播磨国神崎郡

神崎　中郡

七曲森　神崎

国の森　高中村より数里両の森の麓の立川村の百姓等雨乞祈願して越り近傍清浄の淵を撰て雪く中頃の苔城の一つまきて雨乞祈願の事見山氏に近国まで知られり

直川村　中郡

大福山　播磨国神崎

菅谷　神崎

須賀の和名抄に載る苗神并に新宮三渕の称所ハ一物の間にあり

両ノ森の間西より東へ流る小川に架する橋を渡行の大坂也

往還に沿て東へ行く事一里余にして千手川に沿ひ上る事一里余り千手川沿ひ上流に鉾立山あり

直川觀音堂　本堂寺　寺内ニ觀音ノ堂アリ行基ノ作ト云フ　寺ハ天台宗ニシテ神埼郡ノ内ニアリ
山ノ山上ニアリ　本尊ハ千手觀音ノ立像ニシテ長サ凡ソ一尺餘ノ金佛ナリ　堂ハ南向ニシテ
東ニ向ヒテ建ツ　堂ノ前ニ大ナル石ノ鳥居アリ　堂ノ後ニ大ナル杉ノ木アリ　堂ノ前ニ
清水アリ

菌部　村名和名抄ニ載スル所ナリ　國府記ニ菌ノ郷ニ兵船四艘ヲ備フト云フ　今ノ城嶺ノ
西ノ山ノ麓ニ菌ノ神社アリ　一名古城山ト云フ　神社ノ後ニ古城ノ跡アリ　土人ノ云フ所ニ
依レハ昔ハ此ノ山ノ上ニ城アリシト云フ　今モ其ノ跡ニ石垣ノ殘リタルアリ　又此ノ山ノ
西ニ鳴瀧山アリ　山ノ後ニ古瀧アリ　瀧ノ水ハ岩ノ間ヨリ流レ出ツ　其ノ瀧ノ下ニ不動ノ
石像アリ　其ノ傍ニ觀音ノ石像アリ

六ヶ村

大日寺　佐賀郡名草郷　南戴山大日寺　天平元年行基ノ建ツル所ナリ　大日寺ハ西ノ方ニ
七里佛隆寺ハ東ノ方ニ七里ニシテ相去ルコト各七里ナリ　戴山ハ城村ノ北ニアリ　大日寺ハ
佐賀郡ノ内ニシテ戴山ノ南ノ麓ニアリ　大日寺ハ天下三ノ戴山ノ一トシテ山ノ上ヨリ拾ヲ
ノソムレハ七ノ國ヲ見ルコトヲ得ルナリ　寺ノ前ニ大ナル杉ノ木多クアリ　古ヘヨリ植ヘ
ル所ノ木ナリト云フ　寺ノ後ニ大ナル石アリ　其ノ石ノ上ニ觀音ノ石像ヲ安置セリ　寺ノ
前ニ大ナル池アリ　其ノ池ノ中ニ弁財天ノ祠アリ　其ノ祠ノ前ニ石ノ鳥居アリ　寺ノ後ニ
大ナル杉ノ木アリ　其ノ木ノ根ヨリ清水湧出ス　其ノ水ヲ汲ミテ飲メハ病ヲ治スト云フ

北村　田屋

旦延　井筋

藤田村　西大井

板田　板田村ノ法華寺ハ正木ノ法華寺ノ末寺ニシテ法華寺ノ檀家ナリ　檀那寺ノ大渡般若寺ニ
檀那寺ノ三海家ニ葬ル

和田郵　和田川　山ヨリ出テ三ノ川ニ合ス

龍山　龍山ノ神社ノ五柱命ノ前　大事記ニ五海命ノ山龍山ニ葬ルト有リテ千坂田村ノ會ノ
地ニ神社ノ古蹟アリ　又古記ニ佐伊國生ノ地ニ龍山ノ名アリト云フ　是ナリ　龍山ノ
北ニ高キ山アリ　久家ト呼ヒ名ケタリ　昔ノ龍ノ住ミシ所ナリト云フ　又其ノ東ニ
ノ久度山アリ　龍山ニ對ス　不動ノ石像アリ　行人ノ信ヲ得ル

東山島　村ノ濱

那奈郡　古くは作奈郡と書き那珂
　　深順和名抄那賀と見ゆ
那奈、郡東の伊都一西の名草南の郡山の在貴志川の
　　流て高郎山の裏界林神道を経る紀ノ川以北の壌地
廣く美土かちて上古の国物村の野人家多く牛馬衣食
凡百二十餘ヶ国毎戸地持の業言あり処れ共近年弐
　　倹悪く成業業の外み儀不多く衣の衣衆海の毛係荷
駄通一歳の洞蔵り高きを利潤興吉を称小元の石
　　姓されば皆ひ各唯利を逐ふを専とを唱ての有様を不
　　勤急慢の至り底業を取失ひ貧困の家有り

榎木　那智木上　椿木
苔麦　茅穂
自然薯　むかご
竜胆　紅花
沙所柿　東柿
櫨実　大巻柾上
山椒　富椒上
渋　柘榴
木耳　雲蔓
木茸　生椎茸　乾椎茸　松茸
竹筍　生上小竹　乾竹　煮竹
大小豆　大小豆
甘藷　薯蕷
早苗　葛葛
芋倫　芋倫
餅米　粟
木實　木實
漆　漆
生苔　生苔
松露　松露
鶏冠　鶏冠

藤蔓　獨活上
鈎竿　狩猟　竹竿　乾竹　竹刀ヲ用ヰ
山家名物　栗日井立多の市場
櫻木類　唐椿山櫻の類ニて立ち
保檜木　異種留
燈油　木實油
酒糟　油糟
鮒川船　伊勢ノ名産鮒河船ノ似タレ共是ハ東の山越ニて薄ク作リ立ち
味の劣レまた川魚ノ名物ナレ共是ハ北伐ト云所ヨリ出ル像也
鮒河の鮨　鮒ノ鮨名物
茶筌類　織手倫上撰吉倫

長徳寺　　血石　独山山より出る青黒白雲斑交る緊滑沢
緋血石白雲斑
緋の字　　仔宝
漆器　竹有淵　国摩　朴
堂鳩　杉河壽物師
刀鍛冶　南紀杉河住国安
蒔絵仏器類
釧巻物　釧花瓶
尖鐘　　喚鐘
杉河国朝　杉河写鞆　於杉川製
那賀郡

人物
大伴小手　清平盛春元旧紀伊国粉河寺ノ大伴小手生ル
藤原忠家　忠家卿明月記曰建仁元年十月廿日紀伊国山口
在中山王子社ノ辺ヨリ見ヤリタリ
の辺より見やりたり
平維盛　〃杉山神童盛無量寺ノ衆徒ニ
住中将維盛入道ト出ヒ十穴堂ヲ建ル粉河寺ヲ造ル和
父重盛の弔ひを営子供の時召とるめたりと有
紀四郎泰成　西行ノ撰集抄ノ紀四郎泰成ハ
筆者ノ生吉宇治殿ヲ経テ平等院ノ宝蔵ヲ預リ
大磯虎尼　頼朝公団扇ニ大磯ノ虎女ノ字絵社ヲ自ラ
尼と御三経ヲ持テ参リ住住国ヲ
ス春ノ御一那賀那岩手ノ宝ヲ東塔ヒ云

藤原恒佳　玉島第四新町住　陸軍
　砲兵　花ごろも風狂みちのくに名にしおふ
　の雪の富士一出でて自ら春の錦織
　り広大無辺の武蔵の錦織出でて自ら春の錦織

藤原実隆　堂上皇陽明家　実陽明家
　高き根来の陣門に　根来の開基
　智文子神託せり　明治四十三年

賞銭　名所図会の絵賞銭上人　明治二十二年三月十二日根来山より
　さおらせ重ね第一実際分根来山　七十の七十九歳　西行根来にはれ歳
　七十の七十九歳　西行根来にはれ歳　西行根来にはれ歳
　か本文ありて　接化大徳の沙汰　根来の開基
　副賞　根来の開基　賞銭上人　伯父弟子　辞屋り辻堂
　信誉　寄付田信誉の生国参加　新堂を建　寺の住持
　壁の寺　堺の水田の壁の　西一元

清祐　南海寄進　仏供根来　弁等り根来山の衆徒　清祐　根来寺
津田筆長　根来山根来山　根来山の衆徒　根来山
　根来山　根来山の陣主と　根来山の衆徒
　一銭　根来山の外国　根来山の衆徒
　二人　根来山の　根来山の衆徒
　四国　根来山の　根来山の衆徒
　り　根来山の　根来山の衆徒

津田監物　小監物　筆長　津田監物
　大系　根来山の　根来山の衆徒
　大系　根来山の　根来山の衆徒

火名九左門　津田筆長の座　津田筆長の座
津田市兵衛
津田大左衛門

神部左近　那智新神主ト云ヒ天正十三年宗地没収セラル

手部左兵衛　芦川ノ在ル天正年間ニ宝寿寺ヲ創立シ一旦滅亡ノ後再興ス

山ニ登リ梯ニ大院僧ノ霊位ヲ祭リ俗称中側言ノホトトモ千石ノ領ヲ

会セシ新年僧ヲ舎リ古宝ヲ納ムト云

奥作兵衛　奥作兵衛ハ幸ヒ芦川ノ在ノ住人豊臣家ノ滅亡ニ仕ヘ

孫専左ヱ門　孫専左ヱ門今安芸ノ国ニ在リ

吉村左兵衛　吉村曽祖、国ノ三ノ那賀郡ニ住ム松永山ノ仆ニ属セ

後二十人扶ヲ賜ハルト云

菅谷左兵衛

岡部右衛門

多賀崎右ヱ門　文正年間伊那郡新野ノ城主新野左馬助ノ臣ニ多賀崎右ヱ門ト云ヘル者アリ

後主君ニ離レ新野ヲ去リ遠州秋葉寺ニ到リ寺宝ヲ預リ住ス

美福門院　美福門院菩薩ノ尊像ヲ秘蔵ス

那賀郡

名倉

山崎　少将従四位下ニ叙シ播磨守ニ任ス

妙崎神社　妙崎神社ハ那賀郡ニアリ

満重　初メ名ヲ満重ト云フ

玉垣勾当　玉垣勾当ハ那賀郡天王寺住岡部安芸守玉垣勾当ノ

後裔ニシテ其ノ地ニ住ス十八勾ノ一ツ目ト云フ

三山ヲ　三山ヲ下ニヲ二ツ与リ人住ム

大一郎　大一郎ト名ク古ノ新ニ一ツ二ツ有リ

新在家

田中

大垣内

金屋　北山
日蓮宗　本栖国信の寺　寺村領内
昔金銀の粉を含む土を以て書く　白昼闇夜に光を放つ
と称す　針谷家に多数伝来せしも現今保存せず

宝塚　九折
上長山　長谷
国主村　東能義社神官の家　社領十二俵の古証文を蔵す
と称するも今は全く廃絶　社殿の大なる　小山なるも
柿のひとつ物と云者を祭る　神元村　国主寺持の如し

寺村　観音寺　羽川慶剣之
末
上郷山　前川
国主村　文禄中三俣両出於頭

貴志庄　大字行正貴志字文珠の尼寺
貴川博貴の名下に出

釈伽堂　高津
野尻　垂手　那賀郡別院
九品寺　法性寺　那上左治生寺浄土宗根来寺末寺
海老谷　青沼
次谷　中谷に接近して住家あり　次谷に異獣有りと
毛並赤似寅大なり長さ一尺余　物を銜む
不審頻に訴い　頻に山方数軒を訪ひ山方数軒を訪ひ
五月　絶えず　五月末に至り
号を合せて　(此寺向集第十巻)

冷水　東妻　楠木
下津野　四上谷　異体にて竜神道一丁位を
雪木

禁目　山家ノ宝物　三号市場ヨリ北
賀郎　七山
大城　渓山
勝神　一名春日山、大平元、兼竜ケ山、今称南加宇梅垣屋
勝神　伊勢守屋敷の裏より上葉山の麓ニ入新手伊勢部
勝神社帯刀　在頂
山葵手　一ニ依繁手但シ当年ハ変化ノ上ニ
二歩定上ノ口征あり
繁手ノ宝　清水　住ニ
大山号惣社　三部物神ノ初、神事今日晦花五時、神楽波除供奉
ノ人逗留多人（都ニ京新生）

小切望上八世　渓口
福井　神部一作高
鍾簡葉作堂

宮坂　御当院前　城迎寺所　宝物
竹房　舟渡　高塚
黒土　植樹森　名所　長田　額当ニ日逗留多年毎年二月初下　花師
湯士村　賀郎
風の森　伝説古物地　伝の森　仲国掛河寺：後美ニ伝の森ニ入ル
伝市森）

島村　松井
粉河　文禄中当主家長当城地ニ入ル　伝ニ依ル人多シ（古名伝市）
粉河寺　西国順礼霊場名所寺院物宝：昨今静ケキ
事ノ不及ニ記ス山陵候宝）

上田中　伊坂　宮崎村
深田　寺数五寺古名　中山　上野　打田　人王寺
寺数寺　中オ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

志賀小志路山上行場
松谷峯跡
薬師岳　岸本
名手熊野本宮大楼跡　名手山
西郷　辺田垣内
河島　(エビヤケ)足宝下
小伏　江川中郷
林屋　両村
大招　神領
中畑　本宮行場　奥熊野両参寺
三谷花折土佛行場　西国寺森　西山寺金剛童子　豊岡　禅林寺
金剛寺　古和田　桜松谷
高野辻　特垣内
中津河　雲取山林　別所素高法師東口
怪物岳　登山峠
後田　市場
井生谷　西宿
切畑　福垣内
一本郷　中尾
特行　上郷
榛田　北大垣

重行　尾登
今畑　道祖神　白鬚社
森重堀　鳥渕堂
塔谷　東坂本
鍵鎖不動　西行ノ杖集杉白宮鍵ヲ久ク入堂ス生ノ時現ニ体ヲ動ニ遠ク隠ス事ヲ不ル不動ノ杖ノ所ニ像ヲ彫ル事ヲ許ヤ雪重ク奥ノ院ヲ拝ムテ動キ動キ事ヲ許ヌ故ニ名ヲ鍵不動ト云ヒ伝ヘ
神道　山神祠
信福寺　中切
柏川　柏川一作鶴川村　万福寺宝蔵寺
寺奥金堂宇洞行場
松尾　蓮華院
宮相院　大傳法院堂
大楼　三百年毎ノ餓鬼仏天楼年ニ一度ヅヽ
西坂本　尻辻　五智坊跡
草葺跡
下郷　湯谷
白草　平ヤキ所ヲ多
西尾

金屋　煙毛　淡介　森村　高田神社
中野　黒木　塔口　洋川
岡田　水栖　薗芝　高瀬
出迫　荊木　備前　今宇
川尻　野上野　南郷　楳池　北大
末石　末石　末石　末石　末石

伊都郡　古作伊力

伊都郡東ハ大和北ハ河内ノ泡ノ峯ヲ起ル背ノ山ヲ限リ伊都那賀ノ界ヲ境地東ヨリ流ル末山畑多ク平地ナクシテ物知ハ拙ク土石交リ米ノ性ヨクシテ堅ク伊都米ノ称アリ貴人ノ出来ヲ高野一山ノ美ハ不思議ニモ霊羅米ヲ出シ一貴賓ノ直殿ハ恒ニ高貴又百姓ノ気質ハ大和河内ノ風俗ト同ク温和ヨクシテ素朴ニ人ヲ称ル事ヲ恥トシテ世不直ヲ為ス信アルコトヲ以テ就中高野ノ麓ノ人ハ多ク風俗ノ正シキ古意ヲ存セリ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

糠米 上穀の部 糯米
小豆 加賀、宇文坂村の名産を以て第一とす
大豆 加賀村の大豆を以て名産とす
其の大豆を用ひ
醤文路牛蒡 牛蒡大く長くして甘美味の他に
多く製す土地の名あり
高粱
四郎煙草 名産四郎煙草と称す
煙草 霜草、細河上葉 河曉 川上、中館陣、妙手
雲之音
椒油 一名
漆 細川 久慶山備 毛綿 島毛綿 曙毛綿
紅花 自然薯 岩所柿

鈎子柿 速柿
栗 巣
櫟 苔谷山 三月上旬 鰹 芳野山
杉板 檜板 椒板
杉板 檜皮葺
木地細工引物 木地錄椀 槽
杉 木材
檜川柴 池田家千代僧下直り第一湯 秩父用
河魚 和州芳野山の五条川外 材本迄 河船禁制 材本
秩父下り形吉山淫瀞
高野紙 帳紙
氷の餅 六月盛 麦門冬 六月盛 茯苓 六月盛 岩蕈

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03947

草草　椎草

杉菌　高野令珪

雑漢杉　俗に高野槙といふ詩国登山の人又多く庭

馬蕨樹　寺院の庭植として牛馬トドホをして能之香気あり

萬年杉　漢名の仏甲草と云ふ

一又一名土松ともいふ

土砂　真言密法の土砂加持

俗に世人其ご法事信

高野九重の神塔　九重の神塔

慈悲心鳥　高野山奥の院に棲息

仏法僧鳥　一名三光鳥

高野利乃　拾遺

呼子鳥　山鶯

高野遅桜　高野槙

大鷲　芦鷲山奥

六人部是香　三仲宇録、自筆法一

西行法師　松葉坊ゝ西行法師の

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

滝口時頼　平六家あ
口陰の行を済ませ
佐木高綱　私領後
中納言局　山家集
の甘葉
岡本、さもいかと
源なんと云られた
あまくたるるを
梅本民部　玉代一
梅本民部
紀多古田郡湯
河田国梅二郡也
在田を討と河田国
1村湯本保田の
湯本土民の
始まり
郡梅
郡司季光　秩父
季光
秩父重弘
秩父庄司
真田幸村　国記
幸村
真田の故
七女
姉ヶ崎在
の
を
真田幸村佐幸村
幸村
真田幸村
七女
姉ヶ崎在
の
を
県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

中島勘之丞　蓋皆陰社ノ住ク　傳云大師校訂佐伯氏

岡民部　岡民部ハ岡氏ノ訛ナリ　岡氏ハ當地ニ古ク住ス

田所左衛門　寛政八年高野三寶院ノ綸式ノ事ヲ記ス　住人田所新右衛門ノ先祖ナリ　大坂ニ於テ大坂城代ノ諫死ス

高言保泰國之ヲ　其ノ父高言保ハ高野山ノ古文書ヲ

高保太郎兵衛

龜岡傳三郎

安堂景盛　寛元年海運長子本訓年代記ニ高野三寶院宮法

語蓮法師　語蓮法師住高野山

有王　源平盛衰記ニ俊寛僧都ノ侍童有王丸遍ク一ヲ

伊都郡

名所

北野の山　北野の山ハ伊都郡妙寺村ノ北ニ當リ槇尾川ノ南岸ニ聳ユル山ナリ

岡山村ニ在リ　寛政ノ頃ハ今ノ如ク人家ノ建チ連ナラス　中邊

の切所也　昔妹ヶ背ニ行ク時ハ此山ノ上ヲ往還ノ通路トセシ　中邊

凡大川の流西山相峙チ　其ノ間ヲ流ル　今ハ此ノ上ニ橋ヲ架シ

北の山の中ヨリ　多ク出ル故ニ　名トス

限ヲ限ル事　妹背ノ山ノ如シ　川ヲ隔テ相ノ岩石ノ對立スル

妹北背ト云ヘル　妹背ノ山ノ如シ　其ノ間ヲ流ル

の山ヨリ其東背ニ　南ヨリ北ニ流ル

妹寺村　中納言陰卿ノ家ノ名ヲ　上ノ郷

小田　伏原　上野　大路

淨土寺　領村　古子記ニ見エ　紀田　移村

島村　東郷　中郷　下野

廣瀬　植本　左馬　教覚　金毘羅社領　佐伯氏ノ一大領

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

大谷　大敷
東谷　窪邨
手村　以上四村ハ四條と云ヘル村ニテ此里ニ数軒ツヽ名産ノ極楽作リ
新田　大畑　山上ニ玉宮行場　名古曽　神郭　下ル新在家
経塚　薗生
市脇　来迎寺　神郭ニ延喜式ニ所載ノ宮有ト云ヘドモ詳ナラス　神社
出垣　山王　小田　延喜式ニ所載ノ田神社ニテ郡山藩ノ祈願寺
杤本　和守山下ノ村十一ニ分ル、牛地王代ノ頃ハ永和年間ノ民家居ヲ移シ杤本ノ名ヲ杤本氏部ノ家称ヲ杤ト云ヘリ、此ノ云ヘル如ク城ノ構ヒハ昔ノ杤本ノ城ノ由来未タ詳ナラス
兵庫　筏田寺文禄年中豊太閤ノ寺地後陣ヲ

塔跡　待乳山　往古国大夫ノ墓ト云ヒ、暗嶺和尚ノ五輪一基アリ　中物
田畑　辻郷　国場　朝来生ノ神祠
竹屋　道薗谷　秋葉、富山権現ヲ祀ル、岡一帯富山ノ茶畝ヲ討ヒ、茶ヲ当藩ノ献上トス
峯峠谷　西川　九重　古屋
山田　薗隊山大窪　矢倉明神不坐寺　綿谷　養安院
垂癩井閼田八幡宮　山内　細川大二宇氏性河野通直ノ臣村上掃部頭吉資ノ城趾
柱本　竹道河内嶋　北畠氏ノ臣堀宮内少輔ノ城趾　禅寺、柳山寿中寺ノ菩提寺　古佐田　宮内
湯屋谷　湯屋谷
峠之塔　自芸寺ヨリ山宮往還ノ峠ニ在リ　往古ハ京都ヨリ下ル諸国ノ官吏ノ通行セシ処ナリト云ヘリ
大江　往古ハ大江ト書セシ由ニテ今ハ書セノ由

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

丹生川　奥院ヨリ　加持大王尊物　紙谷　田ノ行空ノ坊ト云伝ヘ、言不詳

田森　青淵　河須賀

奥須賀　茅谷　下上田

多田錦　茅谷　坐道

高野山　金剛峯寺領二百千石

大門　東西ノ間南ノ十六間奇異大門ニ梵字ヲ書ス　弘法建九所ノ霊場ヲ定メ玄昉僧正ヲ拝ス　天平勝宝二年ノ建立ニテ九所ノ一ナリ　慶雲三年四柱ヲ立テ木像建ル　天平二年九月法性寺ヘ道俗書写元禄ノ頃ヨリ大門修復ニ及ブ

大塔　十二間四面　緑青間　小塔　三間四面　東塔ノ上ニアリ

金堂　十一間六間　昔ハ西ノ間半ヲ隔テ三堂ニ用ユ　三昧堂　孔雀堂、三昧堂ニ安置ス

三社　丹生ノ神　高野ノ神　鹿王ノ神　牛王ノ神　八幡神　古ハ別ニ社ヲ建テ祭ル　今ハ本社ノ内ニ祭ル

太鼓　黒ク錆タル大鉦ナリ　古銭雲ノ如ク神ノ如シ　言伝ヘ一山ノ衆僧山ヲ動ス音ヲ聞ク

玉川　十五町ノ内ニアリ　三十番ノ札所　古寺霊宝　古物ノ集ル所

苔ノ衣　弘法大師入定ノ所　天平勝宝二年ノ建立ニテ大師ノ手植ノ杉アリ　樹齢七十余年ノ古木ナリ　訓ノ如ク苔深ク生ス　入定ノ院ノ名ニ負ヘリ

奥ノ院　弘法大師入定ノ所　三十番ノ札所　三月廿一日晩宵ヨリ参詣群集ス

御廟　弘法大師入定ノ所　天平勝宝二年ノ建立ニテ大師ノ手植ノ杉アリ　樹齢七十余年ノ古木ナリ　訓ノ如ク苔深ク生ス　入定ノ院ノ名ニ負ヘリ　御廟ヲ遥ニ拝ス　大師入定ノ当時ノ儘ニテ衣服ヲ改メズ　御髪ヲ剃ラズ　爪ヲ切ラズ　生ケルガ如シト云伝ヘ　大師ノ膝ヲ抱クコト二度ト生ケルガ如シト云伝ヘ　大師ノ膝ヲ抱クコト二度ト生ケルガ如シト云伝ヘ　大師ノ膝ヲ抱クコト二度ト

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

南燈　寺の門前にあり（境内自由五枝出る）一株

御廟橋　俗云宗祖御墓前

木念庵　断食所なり天正年中太閤秀吉公御改修の時大徳の寺僧興山一帆和尚と木念上人と再興せり古跡なり（これより右方）

天竺山　禁制

楊柳山　苗木

高燈籠　油園畑在り往古は園精室有之候処雷像一家の浸仕掛不浄を忌い都て不留置清浄にて無異なれ、切に此辺にて不浄地といふ訳なれ共行当詳不知

青蓮寺　寺碑山号百八十三所第八十三番札所

（寺号百八十三軒坊名前行当詳不正本）

興山寺　寺碑山行人派二百八十四番札所寺号寺領千七百石

大徳院　（墨カミ三十山坊大徳院抜之）

（墨カミ三十山坊名前行当詳不正本）

蓮華院谷　往生院谷

西院谷　宝幢院谷

千手院谷　五宝谷

天狗岩　中道より大手筋十丁

京路山西坊　元和四年戊午八月

京伏世寺改之

一大師所持五鈷三鈷

一大師錫杖

一八社相承独鈷形

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947

一八祖傳来古鈴並五鈷
一寶劍一振
一大師持佛 行基菩薩
一天照皇大神尊体 錢
一五指量宝塔像
一勅許度士飛行三鈷
一大師傳来鉢袈裟
一大師自筆般若経並願書 義門聲誉上帰
一堅嶋天皇御履
一靈元帝御宸翰

一普賢菩薩自筆 経文
一深草住持佛像
一唐順宗ノ念珠
一瑠璃壷並水珠共
一勅許ニテ不用古硯 此硯ハ八祖ヨリ相承ノ印傳尊師長更ト云
右ノ高野一山ノ霊山霊地ノ古記錄帳面為數四百餘作校等
ヲ初メ明文アルヲ略之
一高野山繪圖 古跡持霊田後聖地ノ之霊場ヲ
帝宸翰ヲ染メラレ一立
高野領地名 寺領大凡七十餘箇村南ハ有田里東ハ
紀州西ハ和泉郡堺北ハ攝津

麻生津　古生津峠より登り山　渋田村　東西三村あり　古墓物石の別あり
志賀谷
花坂　家名多し　花坂より大川迄　大望より古墓山
　　くさる　古の本道なり　花坂の峠を毎一丁榎有る故　花坂の峠と号す　道
　　の側み　読古　標古　板橋有り
細河　牛井久兵衛より下　　松本　　野田
　　流る也
東御野　　十湯
天野　天望寺生の神巫一位　無八幡　宗宇宗海大師の書写
　　伝う　旅泰純筆　墓有り（西行墓有也墓）
七ツ二村　花坂より牛井久兵衛迄　大川に仕
勝神　勝神山の半腹　神社有り　安楽川　小路
時志　　十野村　　玄庵一作玄相
　　北郡

井口　　神田
諏訪　　上野
慈雲寺　大師女堂の庵所也　勝利院宝塔　板碑　美濃川院墓
　　七社の外神社の名古し　往古無縁の墓と云
椎出村　　四郡　　安良見　　辻方
椚谷　　西脇　　北又村　　宝山
久保　　柿宇　　西須　　松茶屋
花折　　加納　　紙谷一作神谷　　鬼滝
女人堂　　大滝村
蘇鉄峠　言望大川より大滝迄　峠十九丁半
　　乳峠、無望来宮より迄　峠十八丁半
摩尼御　　簡書　　富貴郷　　相滝

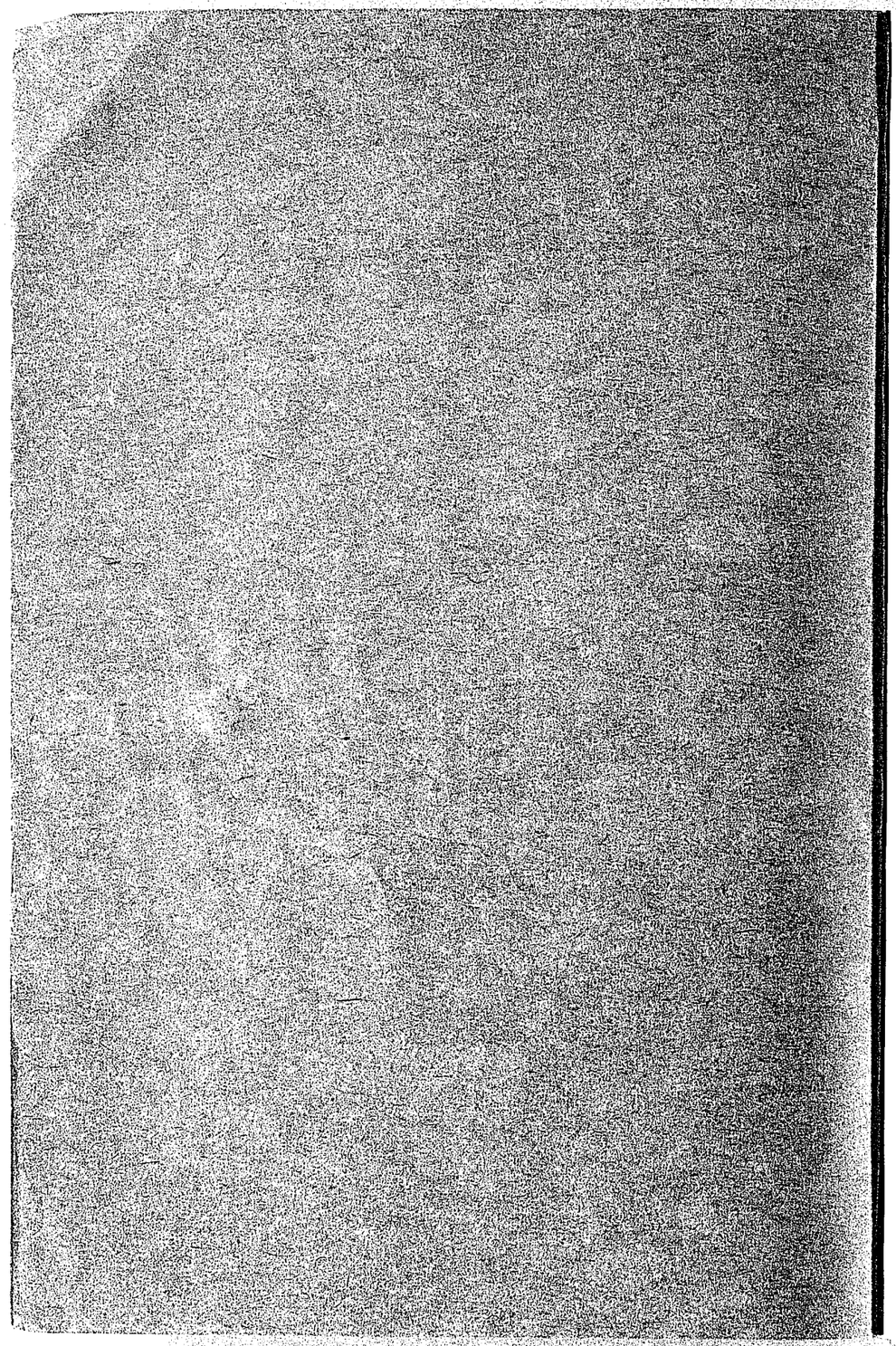
県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947



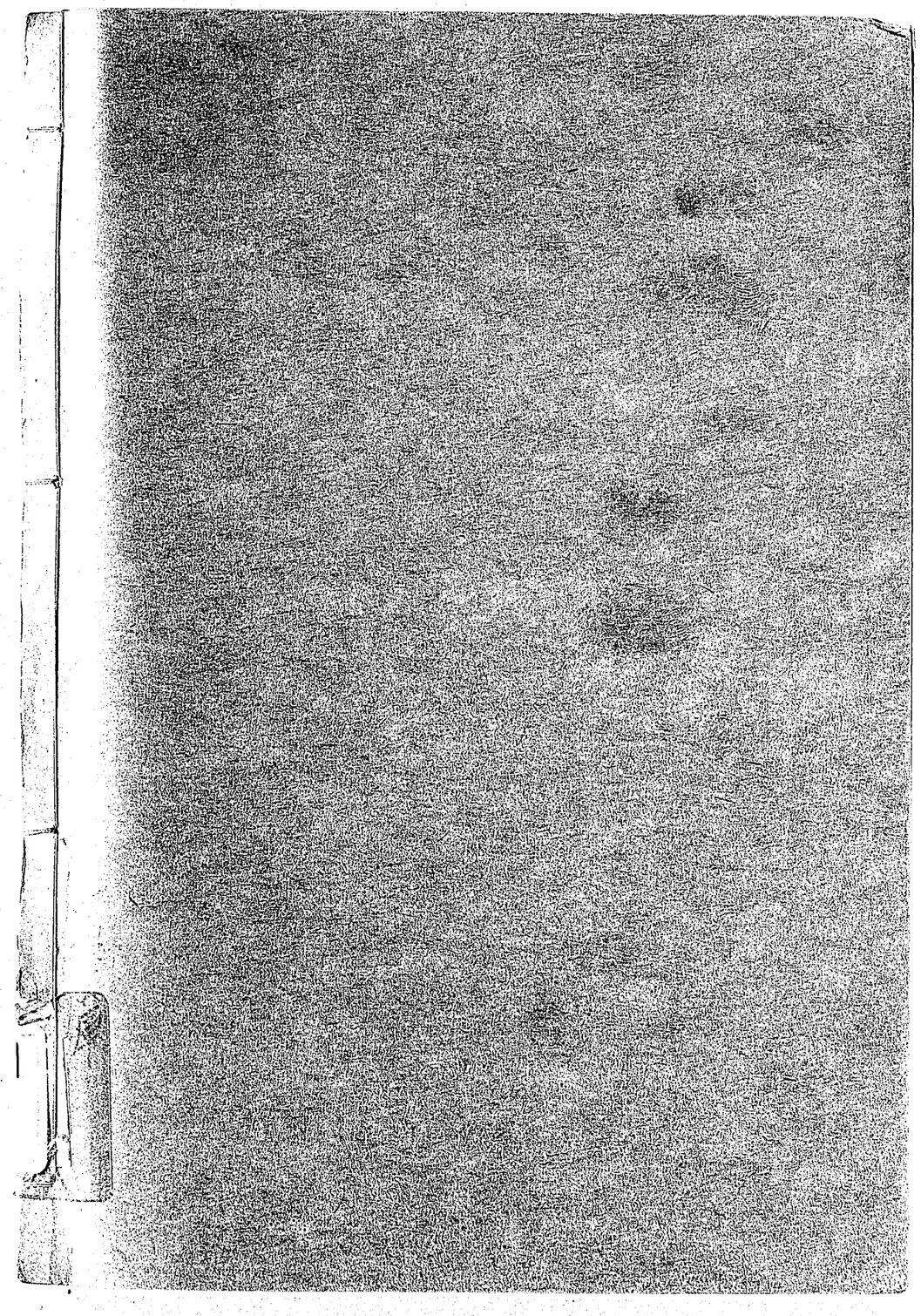
久木　中南
築瀬　上の方に甘茶園あり
新城　中部
国場　長谷
松堂　今西
勝谷　山里村
垣内　根来村
西岸　慕津路
芙蓉垣内　上六箇村に真田の社という

新部　北村
湯川　花底
谷口　宮部
猫子倉　苔水
中部　宝蜜　上七ヶ村
中畑　四郷
山路寺部　北宝部
井関　宮部

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03947